

令和4年度
（2022年度）

業 務 年 報

大分県農林水産研究指導センター

令和4年度(2022年度)業務年報

目 次

I 大分県農林水産研究指導センターの概要	1
1 農林水産研究指導センターの組織	1
2 各所属の業務・試験研究	2
3 試験研究課題の重点化と評価の徹底	3
4 情報発信機能の強化	7
5 試験研究機関の連携推進	9
6 研究員の資質向上	10
7 知的財産権の取得状況	16
8 九州大学との連携	17
9 受賞、学位取得の状況	18
10 主要な行事・会議等	19
11 予算概要	20
II 研究部・グループの概要	21
1 農業研究部	21
2 水田農業グループ	29
3 果樹グループ	34
4 花きグループ	39
5 畜産研究部	44
6 林業研究部	51
7 きのことグループ	56
8 水産研究部(北部水産グループ含む)	62
農林水産研究指導センター研究部・グループの所在地及び連絡先	73

I 大分県農林水産研究指導センターの概要

1. 農林水産研究指導センターの組織

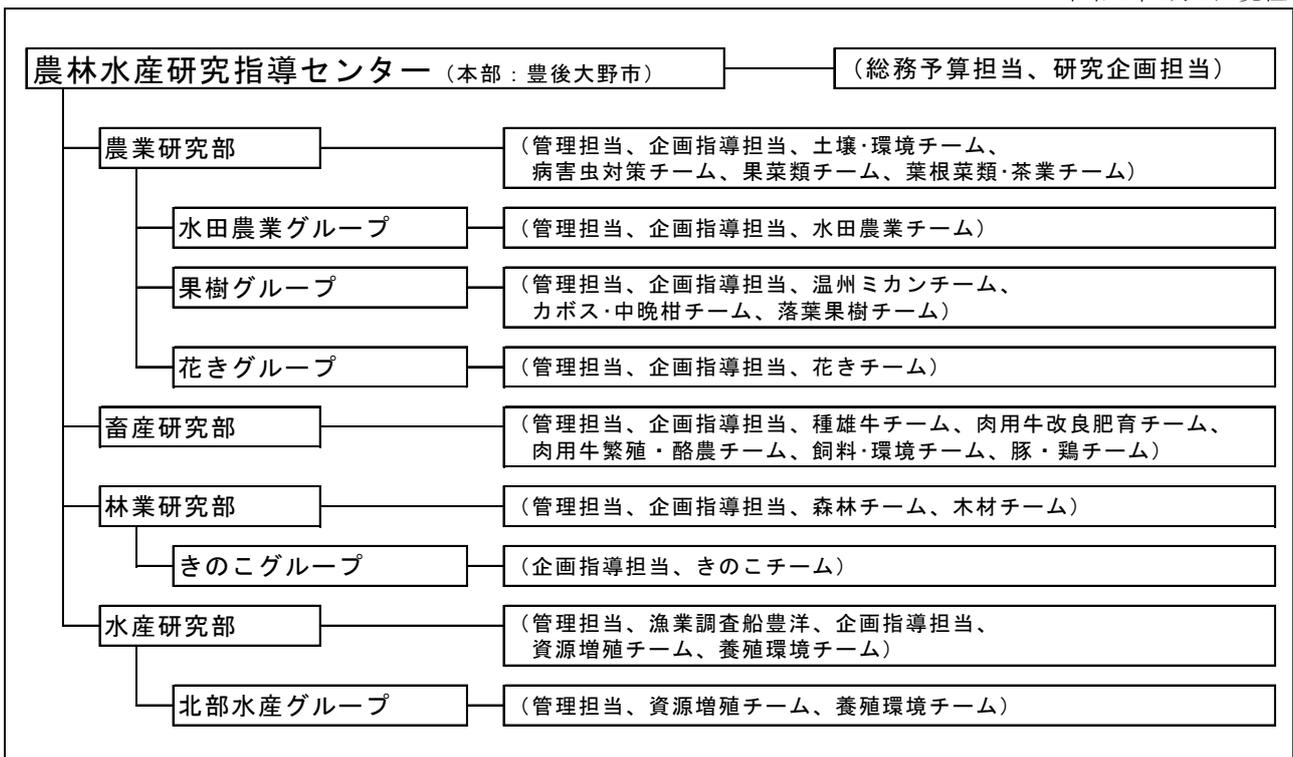
平成17年4月に、農業、畜産、林業、水産の各試験研究機関を統合し、「農林水産研究センター」を設置した。その後の農林水産業を取り巻く環境や情勢の変化を踏まえ、「産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業」を実現するため、現場ニーズに応えた研究、研究のスピード化、成果の迅速な普及に向けて研究指導体制を強化し、平成22年4月に「農林水産研究指導センター」に名称を変更した。同時に、環境対策をはじめ分野を超えた研究課題に対し、連携強化を図るため、農業・畜産・林業・水産の4研究部に再編するとともに、効率的・効果的な研究開発に向け、チーム制を導入した。また、組織全体を統括するため、センター長、管理調整監、研究企画監、総務予算担当、研究企画担当を豊後大野市に配置した。その後も、実情に応じ各チームの再編や名称変更等を行い、現在の組織体制に至っている。

平成28年3月には「変化に対応し、挑戦と努力が報われる農林水産業を実現するための研究開発を行う」ことを基本理念として、「大分県農林水産試験研究基本指針（令和2年3月改訂）」を作成し、成果の活用先（ターゲット）を明確にして経済性を重視した研究開発を行い、農林水産業の創出額増加に寄与することとしている。

引き続き、研究員自らが普及指導員等と一緒に生産現場に赴き、開発した技術を生産者へ普及・指導できるよう、豊後大野市のセンター本部では試験研究機関の予算の総合調整、研究課題の決定・進行管理、試験課題評価・成果公表、研究員の資質向上等の業務を行う。

農林水産研究指導センターの組織体系

令和4年4月1日現在



農林水産研究指導センター各場所別職員配置表

令和4年4月1日現在

機関	事務職員	技術職員					技能職員	合計
		研究	行政	普及	海事	計		
農林水産研究指導センター(本部)	3		6			6		9
農業研究部	5	34	1			35	7	47
水田農業グループ	3	8	1			9	3	15
果樹グループ	1	14	1			15	5	21
花きグループ	1	7	1			8	3	12
畜産研究部	5	25	2			27	23	55
林業研究部	2	12	1			13	1	16
きのこグループ		5	1	2		8	1	9
水産研究部	3	17	1		7	25		28
北部水産グループ	1	11	1			12		13
合計	24	133	16	2	7	158	43	225

2. 各所属の業務・試験研究

所属名	主な業務・研究内容
農林水産研究指導センター(本部)	<ul style="list-style-type: none"> ○研究課題の決定調整・進行管理 ○共同研究の調整・知的財産取得・活用 ○課題評価・成果公表 ○研究員の資質向上 ○産学官交流・連携促進
農業研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○土壌管理・施肥改善技術、有機栽培技術、スマート農業（ドローン） ○病虫害発生予察・防除技術、環境保全型農業技術 ○イチゴの品種育成・選定、栽培技術 ○トマト・ピーマン等の品種選定、栽培技術 ○ネギ・カンショ等の品種選定、栽培技術 ○茶の品種選定、栽培・加工技術
水田農業グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○稲・麦・大豆の品種の育成・選定、栽培技術改善 ○稲・麦・大豆の優良種子生産 ○水田畑地化を実現するための技術開発 ○水田大規模経営体の生産性向上を目的とした技術開発
果樹グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○温州ミカンの優良系統の選抜、栽培技術 ○カボス・中晩柑等の育種、優良系統の選抜、栽培技術 ○ナシ・ブドウ・キウイフルーツ等の育種、優良系統の選抜、栽培技術
花きグループ	<ul style="list-style-type: none"> ○花き類の育種、優良系統の選抜、栽培技術 ○バイオ技術
畜産研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○肉用牛の改良増殖、種雄牛造成並びに精液供給 ○肉用牛の飼養技術及び繁殖技術 ○乳用牛の飼養技術及び繁殖技術 ○牧草及び飼料作物の系統選抜、栽培管理・貯蔵技術、自給飼料成分分析並びに畜産環境対策 ○豚の育種、飼養管理技術並びに精液供給 ○家禽の育種並びに飼養管理技術
林業研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○育種・育林技術、病虫獣害対策技術 ○木材乾燥技術、木材性能評価、木竹材製品開発 ○林業に関する研修及び現地指導
きのこグループ	<ul style="list-style-type: none"> ○きのこの育種、栽培技術、病虫害防除技術 ○きのこ類の生理、分類、同定に関する研究
水産研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○種苗生産と育種、放流効果技術、水産資源管理、漁場造成技術 ○別府湾以南の漁場環境保全・赤潮等の被害防止技術 ○海面養殖技術の開発、水産物の品質向上技術、魚介類の疾病対策
北部水産グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○種苗生産と育種、放流効果技術、水産資源管理、海藻類の増養殖技術 ○別府湾以北の漁場環境保全・赤潮等の被害防止技術 ○内水面の増養殖技術の普及指導、資源管理、環境及び生物の保全、魚病診断・対策技術

3. 試験研究課題の重点化と評価の徹底

試験研究を効率的に実施するため、課題数を概ね100課題に厳選し、さらに試験研究のスピード化を図るため、研究期間を原則3年間以内としている。

また、現場ニーズを広く収集し、農林水産業の振興や県民生活の向上などに資する試験研究を行うために、ホームページや文書などで一般県民や生産者、関係団体などに試験研究課題に対する要望調査を行い、関係者等から147件の要望を収集した。

研究課題の設定にあたっては、収集した要望の中から試験研究として取組可能な課題を選定の上、事前評価（部門別評価及び全体評価）を行い、さらに研究課題が決まった後には試験研究進行管理と事後評価（結果検討）を行った。なお、評価結果はホームページにて公表した。

（1）事前評価

1）試験研究課題調整会議

収集した要望の中から試験研究として取組可能な課題を選定するため、各所属単位で開催し、県民のニーズや政策的なニーズ、目標達成の可能性など全ての観点から、開発しようとする技術の内容や手法を精査し、次年度に向けた課題実施の適否について判断した。

2）試験研究課題検討会

課題調整会議で絞り込んだ要望課題に対して、現場ニーズに合致した試験研究計画とするため、各所属単位で開催し、研究員、関係課・室、普及指導員等に出席を求め、研究実施の必要性、方法の適否、成果とその普及手法等について検討した。

3）部門別評価会議：7月11日～13日（書面による評価）

試験研究課題にかかる県庁関係課・室班総括、振興局の関係する班総括及び生産者団体の役職員を部門別評価者とする試験研究部門別評価会議により、「政策的妥当性」及び「試験研究開発効果」について評価を受けた。

4）全体評価会議：8月22日～24日（書面による評価）

外部評価委員会（有識者、学識経験者、流通関係者、生産者代表）及び企画評価会議（部局横断的な視点から農林水産関係試験研究の企画戦略面での提言・助言を行なもの）をもって構成する全体評価会議により、「研究課題の必要性」、「研究課題の社会的・経済的效果」及び「県が行う必要性」について評価を受けた。

令和4年度 大分県農林水産部試験研究外部評価委員

分野	委員名	役職等	選定理由等
有識者	つちや 土屋 かつとし 勝俊	(株)日本政策投資 銀行 大分事務所長	地域経営や地域づくりに関する豊富な情報を踏まえた評価が期待できる。
学識経験者	たてまつ 立松 ようこ 洋子	(元)別府大学短期大 学部食物栄養科 教授 ・学科長	食品、教育の造詣が深く、食育への取り組みを踏まえた評価が期待できる。
流通関係者	ながお 長尾 きくお 喜久男	京都青果合同(株) 執行役員	大分県マーケティングアドバイザーであり、大消費地における商品化を踏まえた技術開発について助言と評価が期待できる。

分野	委員名	役職等	選定理由等
流通関係者	ふくやま ひろひさ 福山 博久	イオン九州(株) 食品コーディネーター部 地域・生産者支援チームマネージャー	大分県マーケティングアドバイザーであり、大消費地における商品化を踏まえた技術開発について助言と評価が期待できる。
生産者代表	(農業) むらかみ えり 村上 枝里	株式会社村上農園 代表取締役	にら経営（大分市最大） 栽培管理・出荷調整部門の責任者として自社農場の運営を行っており、生産性向上への技術改善に積極的に取り組んでいる。
	(農業) きむら ふさお 木村 房雄	ハウスみかん生産者	大分県柑橘研究会会長 JAおおいた杵築地域柑橘研究会会長
	(畜産) ひらかわ おさむ 平川 修	畜産農家	肉用牛の繁殖成績改善のため、ICT技術を活用して好成績を挙げており、畜産部門以外の農林水部門全般においても幅広い意見が期待できる。前「鼓動」会長（畜産協会が事務局を務める民間の学習組織）
	(林業) くどう よういち 工藤 洋一	久大林産(株) 代表取締役	認定林業事業体の取締役であり、主に素材生産、造林請負業を営んでいる。 大分県西部地域林材業労働安全対策連絡協議会委員 玖珠木材協同組合副理事長
	(水産) わたなべ ひでとし 渡邊 英敏	小型底曳網漁業者	大分海区漁業調整委員会委員 大分県漁協宇佐支店底曳網協議会会長 豊前海底曳連合会会長

(令和4年4月1日現在)

5) 令和5年度研究課題の決定

部門別評価で総合得点60点以上の評価を得た新規候補課題については、次の全体評価に進むことができる(この時点で60点未満のものについては全体評価対象課題から除外となる)。今回、部門別評価を受けた新規候補課題数は13課題であり、12課題は総合得点が60点以上であり、全体評価の対象課題となった。

全体評価では、総合得点60点以上の評価を得た新規候補課題を令和5年度予算要求課題候補にすることとしており、今回、全体評価を受けた12課題はすべて総合得点が60点以上であった。

6) 推進本部会議による承認：9月29日

農林水産部長、審議監、関係課・室長、農業大学校長から構成される推進本部会議を開催し、全12課題について、令和5年度予算要求候補課題として承認された。

(2) 事後評価（試験研究結果の検討）

現地移転の促進や次期試験研究計画の策定等に活かすため、各所属で試験研究終了の翌年度に試験研究結果検討会を開催し、研究目標等に対する達成状況について検証した。

(3) 農林水産試験研究アドバイザー

各所属の内部会議等に招集するなど、大学や国立研究開発法人等の研究者や専門的な知識・経験を有する有識者などのアドバイザーから、新規研究課題に関して専門分野の技術的アドバイスを受けた。

大分県農林水産研究指導アドバイザー(令和4年4月1日～令和4年9月30日)

	所 属 名	職 名	氏 名
農業研究部 (土壌・環境)	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 環境農学部 生産環境科学講座	教授	平館 俊太郎
	国立研究開発法人 研究推進部 技術適用研究チーム 九州沖縄農業研究センター 研究推進部 技術適用研究チーム	チーム長	荒川 祐介
農業研究部 (病害虫)	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 生物的防除研究施設	准教授	上野 高敏
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域 畑作物・野菜栽培グループ	上級研究員	井上 博喜
農業研究部 (野菜)	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	教授	尾崎 行生
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域 施設野菜グループ	グループ長	大和 陽一
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域 畑作物・野菜栽培グループ	グループ長	石井 孝典
農業研究部 (茶業)	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 研究推進部 研究推進室	茶業連携調整役	吉田 克志
水田農業 グループ	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生産生態学分野	助教	安彦 友美
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 水田高度利用グループ	グループ長補佐	中野 洋
果樹 グループ	国立大学法人 鹿児島大学	名誉教授	富永 茂人
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	九州沖縄果樹 研究調整役	吉岡 照高
	国立大学法人 鳥取大学	理事・ 副学長	田村 文男
花き グループ	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域	上級研究員	今村 仁
	東海大学	名誉教授	田中 孝幸
	宇田花づくり研究所	代表	宇田 明
畜産研究部	国立大学法人 広島大学 大学院統合生命科学研究所	教授	島田 昌之
	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 農学部附属農場 高原農業実験実習場 家畜生産生態学講座	准教授	高橋 秀之
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域	上級研究員	加藤 直樹
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域 肉用牛生産グループ	グループ長	細田 謙次
林業研究部	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター九州育種場	育種課長	久保田 正裕
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林生態系研究グループ	主任研究員	野宮 治人
	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 環境農学部 サステイナブル資源科学講座	准教授	藤本 登留
きのこ グループ	国立大学法人 琉球大学農学部 亜熱帯生物資源科学科 生物機能開発学分野 林産科学研究室	教授	高島 幸司
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林微生物管理研究グループ	主任研究員	木下 晃彦
水産研究部	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門 水産生物環境学研究室資源生物科学部門	准教授	島崎 洋平
	国立大学法人 愛媛大学 沿岸環境科学研究センター 生態系解析部門 魚類感染症学研究室	准教授	北村 真一
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 企画調整部門	特任部長	照屋 和久
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 養殖部門 育種部	育種基盤 グループ長	岡本 裕之
北部水産 グループ	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校 生物生産学科 生物環境学講座 藻場生態系保全研究室	教授	村瀬 昇
	福山大学 生命工学部 海洋生物科学科 沿岸資源培養学研究室	教授	太田 健吾

農研機構 10名、森林機構 3名、水研機構 3名、大学 14名、その他 1名 合計 31名

大分県農林水産研究指導アドバイザー（令和4年10月1日～令和5年3月31日）

	所 属 名	職 名	氏 名
農業研究部 (土壌・環境)	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 環境農学部 生産環境科学講座	教授	平舘 俊太郎
	国立研究開発法人 研究推進部 技術適用研究チーム 九州沖縄農業研究センター 研究推進部 技術適用研究チーム	チーム長	荒川 祐介
農業研究部 (病害虫)	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 生物的防除研究施設	准教授	上野 高敏
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域 畑作物・野菜栽培グループ	上級研究員	井上 博喜
農業研究部 (野菜)	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	教授	尾崎 行生
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域 施設野菜グループ	グループ長	大和 陽一
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域 畑作物・野菜栽培グループ	グループ長	石井 孝典
農業研究部 (茶業)	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 茶業研究領域 茶品種育成・生産グループ	グループ長補佐	吉田 克志
水田農業 グループ	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生産生態学分野	助教	安彦 友美
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 水田高度利用グループ	グループ長補佐	中野 洋
果樹 グループ	国立大学法人 鹿児島大学	名誉教授	富永 茂人
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	九州沖縄果樹 研究調整役	吉岡 照高
	国立大学法人 鳥取大学	理事・ 副学長	田村 文男
花き グループ	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域 施設野菜グループ	上級研究員	今村 仁
	東海大学	名誉教授	田中 孝幸
	株式会社 大分園芸花市場	代表取締役社長	菊谷 晴美
畜産研究部	国立大学法人 広島大学 大学院統合生命科学研究所	教授	島田 昌之
	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 農学部附属農場 高原農業実験実習場 家畜生産生態学講座	准教授	高橋 秀之
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域	上級研究員	加藤 直樹
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域 肉用牛生産グループ	グループ長	細田 謙次
林業研究部	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター九州育種場	育種課長	久保田 正裕
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林生態系研究グループ	グループ長	野宮 治人
	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 環境農学部 持続可能な資源科学講座	准教授	藤本 登留
きのこ グループ	国立大学法人 琉球大学農学部 亜熱帯生物資源科学科 生物機能開発学分野 林産科学研究室	教授	高島 幸司
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林微生物管理研究グループ	主任研究員	木下 晃彦
水産研究部	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門 水産生物環境学研究室	准教授	島崎 洋平
	国立大学法人 愛媛大学 沿岸環境科学研究センター 生態系解析部門 魚類感染症学研究室	准教授	北村 真一
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 企画調整部門	特任部長	照屋 和久
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 養殖部門 育種部	育種基盤 グループ長	岡本 裕之
北部水産 グループ	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校 生物生産学科 生物環境学講座 藻場生態系保全研究室	教授	村瀬 昇
	学校法人 福山大学 生命工学部 海洋生物科学科 沿岸資源培養学研究室	教授	太田 健吾

農研機構 10名、森林機構 3名、水研機構 3名、大学 14名、その他 1名 合計 31名

4. 情報発信機能の強化

(1) 研究 Now

研究成果等を「研究 Now」と題してホームページに月1回のペースで掲載し、研究内容を分かりやすく紹介した。

令和4年度 研究 Now 一覧

vol.	公表日	所属	タイトル
121	R4. 6. 30	果樹グループ	スマート技術の活用による温州みかんの省力化技術の開発
122	R4. 7. 22	畜産研究部	開放型豚舎での LED 光線管理による効率的豚人工授精法
123	R4. 9. 1	農業研究部	マニユアスプレッダーを用いた転炉スラグの散布労力軽減
124	R4. 9. 30	北部水産グループ	主要河川におけるアユ資源の有効利用手法の開発
125	R4. 10. 3	農業研究部	統計学的手法を用いた土壌水分測定法の開発
126	R4. 11. 1	林業研究部	コウヨウザンとスギの成長比較とツリーシェルターによる獣害対策
127	R4. 11. 2	農業研究部	化学農薬に頼らないイチゴの IPM 防除手法の開発と現地普及
128	R4. 11. 15	水産研究部	養殖ブリの端境期出荷に向けた 8 月人工種苗生産の取組
129	R4. 12. 1	農業研究部	茶の春整枝時期の調整による一番茶の適期拡大
130	R5. 1. 6	水田農業グループ	GNSS ガイダンスシステムを利用したトラクター作業の実証をしています
131	R5. 1. 6	農業研究部	一番茶の生育・摘採適期予測の簡易な判断手法の開発
132	R5. 2. 1	農業研究部	TSWV 抵抗性ピーマン「TSR さらら」の品種特性の解明
133	R5. 3. 7	果樹グループ	ドローンによるカンキツ開花期防除省力化の可能性を探る！
134	R5. 3. 15	花きグループ	新品種導入のためのカンキツのウイルスフリー苗の作出

(2) 普及カード

各研究部・グループが実施した研究のうち、生産現場に普及すべき成果（令和3年度までに成果が得られたもの）を「令和3年度普及カード」として生産者及び関係者向けに作成しホームページで情報提供を行った。

令和3年度 普及カード一覧

No	研究機関名	タイトル	研究課題名	試験年度 期間	資料
1	農業研究部	イチゴ灰色かび病の薬剤感受性検定結果	「ベリーツ(大分6号)」における灰色かび病を主体とした防除体系の構築	R1～R3	
2	農業研究部	イチゴ炭疽病の薬剤感受性検定結果	「ベリーツ(大分6号)」における灰色かび病を主体とした防除体系の構築	R1～R3	
3	農業研究部	炭酸ガスくん蒸処理と天敵資材を組み合わせたイチゴのハダニ対策	県オリジナルイチゴ品種(大分6号)のハダニ類を中心とした主要病害虫の防除体系構築	R1～R3	
4	農業研究部	マルチコプターを活用した白ねぎの生育診断技術	マルチコプターを活用した白ねぎ等露地野菜の生育診断技術の開発	R1～R3	○
5	農業研究部	マニユアスプレッダーを用いた転炉スラグの散布労力軽減の検討	農業分野における転炉スラグの活用拡大に関する技術確立	R1～R4	○
6	農業研究部	混合堆肥複合肥料の活用について	低コストな混合堆肥複合肥料の開発	R1～R3	○
7	農業研究部	土壌水分の分布および測定手法	次世代型土壌水分センサーによる小ネギ栽培の「見える化」技術の構築	H30～R3	○
8	農業研究部	二番茶期の効果的な炭疽病防除方法	拡大するドリンク茶・碾茶需要に対応した茶生産技術の確立	R1～R3	
9	農業研究部	かんしょの機械定植における有効な苗サイズについて	イモ類の産地拡大に向けた生産安定技術の確立	R1～R3	○
10	果樹グループ	「おおいた早生」の無加温栽培による早期出荷技術	「おおいた早生」のリリース出荷を可能にする無加温栽培と樹上完熟栽培技術の開発	R1～R3	
11	果樹グループ	「おおいた早生」の樹上完熟栽培技術	「おおいた早生」のリリース出荷を可能にする無加温栽培と樹上完熟栽培技術の開発	R1～R3	
12	果樹グループ	3倍体カボス「大分果研6号」の香りの評価	カボス新品種導入による周年出荷の安定	R1～R3	○
13	花きグループ	タバコノミハムシの有効薬剤の探索	花き類における省力的防除技術体系の構築	R3～R5	○
14	畜産研究部	LED 光線管理による効率的豚人工授精法の確立	LED 光線管理による効率的豚人工授精法の確立	R1～R3	
15	林業研究部	県産スギ大径材の有効利用技術の開発	大径材の多様な利活用に向けた乾燥技術の開発	R3～R5	
16	きのこグループ	乾シイタケ栽培における1年起こし栽培技術の検討	温暖化に対応した乾シイタケ栽培技術の開発 －1年起こしの検討－	H30～R3	
17	水産研究部	佐伯湾におけるIoT技術を用いた赤潮の「みえる化」への取組	ICTの活用と農水連携による赤潮対策技術の開発	H30～R2	

（3）刊行物等の発行

センターの取組を刊行物またはホームページにて広報した。

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数	備考
令和3年度業務年報	R4. 7. 19	66	HP掲載のみ	
研究報告（第8号）	R5. 3. 27	49	200・HP掲載	

（4）農林水産研究タイムリー情報

平成29年8月から、一定の成果が得られた報告（普及カードや研究Now等）以外の日常的な取組（トピックス等）を「農林水産研究タイムリー情報」として県庁ホームページに掲載している。令和4年度の実績は以下のとおりである（計227件発信）。

農業 117件（農業研究部 52件、水田農業グループ 28件、果樹グループ 34件、花きグループ 3件） 林業 32件（林業研究部 21件、きのこグループ 11件） 水産 75件（水産研究部 41件、北部水産グループ 34件） 本部 3件
--

（5）農林水産研究指導センター研究状況部長報告

試験研究活動や成果を県庁職員へ広く情報を提供するために実施した。

年月日	場所	課題	主な聴講者
R5. 1. 20	防災活動支援室2	部長報告 ①「醤油用・パン用小麦品種「はるみずき」の選定と現地普及」（水田農業グループ 水田農業チーム 研究員 野村 充） ②「IoTを用いた監視システムによる養殖マグロの斃死要因の解明」（水産研究部 養殖環境チーム 研究員 野田 誠） ※上記の他に、農業普及関係の2課題が報告された。	部長、センター長、所属長、関係課・室長他

5. 試験研究機関の連携推進

県内の試験研究機関の機能強化、技術向上及び業務の効率化等の円滑な運営を図るため、各機関が総合的かつ有機的な連携体制を構築することを目的として、平成22年度に衛生環境研究センター、産業科学技術センター、農林水産研究指導センターの3機関で大分県試験研究機関連携会議を設置した。また、令和元年度から警察本部 刑事部科学捜査研究所を加えた4機関の体制となった。

なお、令和4年度の事務局は産業科学技術センターで、下記のとおり4機関の連携を深めた。

開催日	場所	内容
R4. 7. 4	産業科学技術センター	本年度の活動体制・内容確認の打合せ会議

開催日	場所	内容
R4. 8. 8	産業科学技術センター	令和4年度第1回大分県試験研究機関連携会議 (令和3年度事業報告、令和4年度事業計画) 産業科学技術センター見学
R5. 2. 14	産業科学技術センター	令和4年度第2回大分県試験研究機関連携会議 (令和4年度事業報告等の資料共有) 「おおいた経済安全保障ネットワーク」について話題提供
R4. 2. 28	Web開催	令和3年度気候変動セミナー

6. 研究員の資質向上

研究課題解決のための高度な技術の習得及び資質向上のため研究員の研修を実施した。

(1) 短期派遣研修

所属	役職	氏名	派遣先	派遣地	研修期間	研修課題
農業研究部	研究員	工藤 新一 川口 揚豊	オンライン学習	—	R4. 8～R5. 2 (88h)	AI、ビッグデータの幅広い知識・技術と合わせて、画像解析の専門知識を習得する
果樹グループ	研究員	久井田曜陽				
畜産研究部	主任研究員	三村 純一郎	独立行政法人 家畜改良センター 鳥取牧場	鳥取県	R4. 9. 5～ R4. 9. 16 (12日間)	体外受精卵研究のための牛の経膈採卵技術及び体外受精卵生産過程における操作等技術の習得する
畜産研究部	研究員	園川 竜征	独立行政法人 家畜改良センター	福島県	R4. 11. 21～ R4. 12. 2 (12日間)	種雄牛の選抜にゲノム育種価を活用するための遺伝子解析技術の習得する
きのこグループ	主任研究員	溝口 泰広	森産業株式会社	群馬県	R4. 11. 7～ R4. 11. 11 (5日間)	しいたけ育種及び品種登録にかかる技術の習得、その他栽培技術の知識習得する
水産研究部	主任研究員	山田 英俊	東京海洋大学等	東京都	R5. 1. 23～ R5. 1. 27、 R5. 2. 14～ R5. 2. 17 (9日間)	養殖衛生管理技術者として必要な知識、技術を習得後（養殖衛生管理技術者養成 本科専門コース）、当研修修了後に魚類防疫士技術認定試験を受験する
水産研究部	研究員	室谷 冬香	オンライン研修	—	R4. 11～R5. 2 (38h)	養殖衛生管理技術者として必要な知識、技術を習得する（養殖衛生管理技術者養成 基礎コース）

所属	役職	氏名	派遣先	派遣地	研修期間	研修課題
水産研究部	研究員	鈴木 翔太	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 五島庁舎	長崎県	R5. 1. 13～ R5. 1. 17 (5日間)	ブリ種苗供給プログラム における成熟調査および 採卵作業を研修し、知識や 技術を習得する
北部水産 グループ	研究員	平野 莊太郎	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 廿日市庁舎	広島県	R4. 11. 7～ R4. 11. 10 (4日間)	有害・有毒プランクトンの モニタリング及び同定手 法を習得する
北部水産 グループ	研究員	堀切 保志	大分県農林水産研 究指導センター	大分県	R4. 6. 18	キジハタの放流技術、種苗 生産技術に関する基礎講 座の受講及び種苗生産に 関する技術習得をするた め講師を招聘
	研究員	崎山 和昭				

(2) 農林水産関係若手研究者研修（国主催研修への派遣）

所 属	役職	氏名	派遣先	派遣地	研修期間	研修課題
畜産研究部	研究員	野仲 美樹	オンライン研修	—	R4. 9. 23～ R4. 9. 24 (2日間)	若手研究者として最低限 身につける必要のある知 見の習得、能力の開発
	研究員	原 彰宏				

(3) 新規採用研究員研修

開催 年月日	開催 場所	参加者数	内 容
R4. 4. 20	県庁本館6F 防災活動支援室②	12名 (うち新採研究員9名) (うち新採労務技師3名)	講演①：「農林水産研究指導センターの概要・役割について」 講師：農林水産研究指導センター 研究企画監 藤谷 信二 講演②：「大分県の一次産業を支える研究員としての構え」 講師：農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭 質疑・意見交換

（４）現場体験研修

所属	役職	氏名	派遣先	派遣地	研修期間	研修内容
農業研究部	研究員	中園 佳那	有限会社 育葉産業	豊後大野市	R4. 10. 25～ R4. 11. 4 (うち8日間)	大規模ミツバ生産法人で栽培作業、出荷作業の現場作業を研修
農業研究部	研究員	山本 栞名	FROGS FARM 株式会社	豊後大野市	R4. 10. 17～ R4. 10. 28 (うち9日間)	ピーマンやカンショを中心とした農業法人で夏秋ピーマンの収穫作業や出荷調整、高糖度カンショの収穫作業を研修
水田農業 グループ	研究員	渋谷 哲平	農事組合法人 まっさき	宇佐市	R4. 6. 23～ R5. 2. 3 (うち5日間)	大規模水田農業法人で水稻（田植え、草刈り、稲刈り）、麦（追肥、土入れ）の現場作業を研修

（５）若手研究員研修

若手研究員のプレゼン能力向上及び所属を超えた若手研究員同士の情報共有・連携に向け、若手研究員による研究発表を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
R4. 12. 15	林業研究部	35歳以下の若手研究員等 30名	<p>【林業研究部施設見学】 多機能木材乾燥機など施設整備の説明や試験課題の概要などについて研修</p> <p>【研究内容の紹介・意見交換】</p> <p>①大分県の主要品目である白ネギで問題となっている病害虫について (農業研究部 病害虫対策チーム 研究員 山元 美祐)</p> <p>②落葉果樹チームの試験研究について (果樹グループ 落葉果樹チーム 研究員 笠木 啓喜)</p> <p>③スイートピーの落蕾しにくい品種の育成 (花きグループ 花きチーム 研究員 尾山 仁菜)</p> <p>④緑色LED光照射がヒラメにもたらす効果 (水産研究部 養殖環境チーム 研究員 中島 智優)</p> <p>⑤EMC試験におけるAIの活用に関する研究 (産業科学技術センター 電子・情報担当 研究員 浜野 遼太郎)</p> <p>⑥トリプル四重極LC/MSを用いた尿直接注入によるΔ^9-THC-COOHの定量・定性同時分析 (科学捜査研究所 化学係 研究員 坂本 大輔)</p> <p>【全体討議】</p>

（6）中堅研究員研修

各所属が実施している主要な試験研究課題の進捗状況や研究成果をセンター内で共有するとともに、研究機関のPRや将来的な研究成果の普及に向けた研究員のプレゼン能力の向上を目的とした研修会を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
R4. 11. 25	大分県水産会館 (オンライン併用)	55名	<p>【研究発表】</p> <p>①土壌水分測定法の開発とこれからの展望 ～小ネギ栽培における土壌水分の測定～ (農業研究部 土壌・環境チーム 研究員 藤谷 渉)</p> <p>②LED 光線管理による効率的豚人工授精法の確立 (畜産研究部 豚・鶏チーム 研究員 後藤 雅昭)</p> <p>③疎植造林による育林施業体系の開発 (林業研究部 森林チーム 研究員 松本 純)</p> <p>④IoT を用いた監視システムによる養殖マグロの斃死要因の解明 (水産研究部 養殖環境チーム 主幹研究員(TL) 宮村 和良)</p> <p>⑤化学農薬に頼らないイチゴの I P M防除手法の開発と現地普及 (農業研究部 病害虫対策チーム 研究員 伊藤 玲央)</p> <p>⑥廃菌床を利用した低コストシイタケ栽培技術の検討 (きのこグループ きのこチーム 主任研究員 宮本 亮平)</p> <p>⑦マルドリ方式による「大分果研4号」の安定生産 (果樹グループ カボス・中晩柑チーム 主任研究員 野村 雄太)</p> <p>⑧大規模ドリリンク茶栽培管理支援 ～生育・摘採適期予測の簡易な判断手法の開発～ (農業研究部 葉根菜類・茶業チーム 主任研究員 外園 佳子)</p> <p>⑨カジメ・クロメの人工種苗を用いた藻場造成 (北部水産グループ 養殖環境チーム 研究員 入江 隆乃介)</p> <p>⑩スイートピーの収量向上対策とオリジナル品種の育成 (花きグループ 花きチーム 主任研究員 岡本 潤)</p> <p>⑪醤油用・パン用小麦「はるみずき」の選定と現地普及 (水田農業グループ 水田農業チーム 研究員 野村 充)</p> <p>【総合討論】</p>

（7）チームリーダー研修

チームリーダー及び企画指導担当（総括）を対象に研究成果の普及推進活動として、研究員が普及指導員等と連携して行った現場指導活動の優良事例を通して意見交換・情報共有を行い、普及指導活動の高位平準化を目的とした研修を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内 容
R4. 8. 10	大分県水産会館	チームリーダー及び企画指導担当（総括）等 28 名	<p>【講演】</p> <p>演題：「大分県の一次産業試験研究のこれから」 講師：農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林 浩昭</p> <p>【現場指導活動の優良事例】</p> <p>①研究成果の普及推進 農業研究部 土壌・環境チーム 専門研究員(TL) 玉井 光秀</p> <p>②現場の赤潮研究（過去、現在、未来） 水産研究部 養殖環境チーム 主幹研究員(TL) 宮村 和良</p> <p>【パネルディスカッション】</p> <p>テーマ：研究成果の普及推進活動として、研究員が普及指導員等と連携して行う現場指導活動について コーディネーター：林 浩昭 研究指導顧問 パネラー：農業研究部 専門研究員(TL) 玉井 光秀 水産研究部 主幹研究員(TL) 宮村 和良</p>

（8）数理統計研修

農林水産試験研究における数理統計の基礎を学ぶとともに、試験研究の現場において直面すると思われる数理統計処理の演習を行うため研修を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内 容
R4. 11. 30 ～12. 2	県庁舎新館 0A プラザ	研究員等 12 名	<p>「R/Rcmdr/Rstudio の動作確認、統計学概論、データのばらつきの数値化、パラメトリック統計学、実験計画法、多重比較の諸方法、モデル選択論、一般化線形モデル、多変量データと多変量解析」</p> <p>講師（国研）農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境研究部門 土壌環境管理研究領域 専門員 三中 信宏 氏</p>

（9）はやしセミナー

農林水産研究指導センターの研究指導顧問である林浩昭氏がコーディネーターとなり、農業・畜産・林業・水産が抱える共通課題の解決や共通テーマの情報交換を実施し、研究員の資質向上を目的とした「はやしセミナー」を開催した。

はやしセミナー（センター本部主催）

開催年月日	開催場所	参加者数	内 容
R4. 4. 20	県庁本館6F 防災活動支援室②	新規採用研究員 ・農業技術員 12名	※新規採用研究員・農業技術員研修合同開催 「大分県の一次産業を支える研究員としての構え」
R4. 8. 10	大分県水産会館	チームリーダー 等 28名	※チームリーダー研修と合同開催 「大分県の一次産業試験研究のこれから」
R4. 12. 15	林業研究部	研究員等 30名	※若手研究員研修と合同開催 全体討論の座長として、若手研究員の研究発表を通じ、研究員同士や所属の連携を強化
R5. 3. 17	農林水産研究 指導センター (オンライン併 用)	研究員等 61名	①国内長期派遣研修報告 「大豆褐斑粒原因ウイルスの探索」 農業研究部 病害虫対策チーム 主幹研究員 祖田 嘉教 ②スマート技術研修報告 「画像認識を用いた生育診断技術の開発に向けて」 農業研究部 土壌・環境チーム 研究員 工藤 新一 農業研究部 葉根菜類・茶業チーム 研究員 川口 揚豊 果樹グループ 温州ミカンチーム 研究員 久井田 曜陽 ③学位取得報告 「博士号取得までの道のり」 水産研究部 資源増殖チーム 研究員 和田 宗一郎 ④記念講演① 「はまれば、研究も面白い ～長ければ良いものでは、ありませんが・・・～」 農林水産研究指導センター 研究企画監 藤谷 信二 ⑤記念講演② 「私のしくじり ～失敗から学んだ、仕事への向き合い～」 農林水産研究指導センター センター長 加藤 典臣

出前はやしセミナー（各所属からの要望への対応）

開催年月日	開催場所	参加者数	内 容
R4. 9. 22	きのこグループ	研究員等 12 名	<p>【出前セミナー】 下記研究についての助言・指導を実施した</p> <p>①乾シイタケの発生に及ぼす気象要因の解析 きのこグループ きのこチーム 主任研究員 溝口 泰広</p> <p>②打木強度の数値化について きのこグループ きのこチーム 研究員 生野 柁大</p>

7. 知的財産権の取得状況

令和4年度に新たに登録された知的財産権はなかった。なお、令和4年度末までに登録されている特許及び品種は以下のとおりである。

(1) 特許登録

NO.	状況	登録		発明の名称	所属機関	持分割合
		登録番号	登録年月日			
1	登録	3938786	2007/4/6	分娩予知通報システム	畜産研究部	50%
2	登録	4774484	2011/7/8	魚病防除剤及びその製造方法ならびに飼料	水産研究部	40%
3	登録	4783883	2011/7/22	受胎率および産子数向上凍結精子およびその製法	畜産研究部	50%
4	登録	4905649	2012/1/20	魚用ワクチン、その製造方法、および魚類感染症の予防方法	水産研究部	1/3
5	登録	5422848	2013/12/6	受胎率および産子数向上凍結精子およびその製法	畜産研究部	50%
6	登録	5733829	2015/4/24	凍結された精子用希釈液、及び、これを用いた人工授精方法	畜産研究部	50%
7	登録	5818111	2015/10/9	貝類毒化軽減装置および貝類毒化軽減方法	水産研究部	100%
8	登録	5904369	2016/3/25	精子保存液、精子保存方法及び人工授精方法	畜産研究部	50%
9	登録	6041238	2016/11/18	ブリ細菌性溶血性黄疸の病原体抗原ポリペプチド、及びこれを含む水産用ワクチン	水産研究部	20%
10	登録	6099048	2017/3/3	茶の施肥方法	農業研究部	50%
11	登録	6291669	2018/2/23	転倒ます型流量計測装置	農業研究部	20%
12	登録	6704562	2020/5/15	赤潮原因ラフィド藻類の光逃避行動を誘導する方法	水産研究部	25%
13	登録	6516252	2019/4/26	根深ネギの大苗育成方法	農業研究部	100%
14	登録	6804060	2020/12/4	ブタ精子凍結希釈液用添加剤及びブタ精子の凍結保存方法	畜産研究部	50%
15	登録	6738071	2020/7/21	長尺育苗容器、連続集合鉢体苗を入れる装置、および、巻き取り器具	農業研究部	100%

(2) 品種登録

NO.	状況	登録		農産物の種類	品種名	所属機関	持分割合
		登録番号	登録年月日				
1	登録	15413	2007/3/23	なし	豊里	果樹グループ	100%
2	登録	17734	2009/3/ 6	かんきつ	大分果研4号	果樹グループ	100%
3	登録	20806	2011/5/24	トルコギキョウ	チェリービー	花きグループ	100%
4	登録	24322	2015/5/20	トルコギキョウ	チェリービー2号	花きグループ	100%
5	登録	24323	2015/5/20	トルコギキョウ	チェリービー3号	花きグループ	100%
6	登録	24345	2015/6/19	ヤマジノギク	TOYO ロマン2号	花きグループ	100%
7	登録	26579	2018/2/ 9	大麦	トヨノホシ	水田農業グループ	70%
8	登録	28275	2021/1/26	イチゴ	大分6号	農業研究部	100%
9	登録	28847	2022/1/17	かんきつ	大分果研6号	果樹グループ	100%

8. 九州大学との連携

九州大学の教育研究並びに社会貢献の進展と、大分県における農林水産業の振興を図ることを目的に、平成19年1月29日に「国立大学法人九州大学大学院農学研究院、大学院生物資源環境科学府及び農学部と大分県農林水産部との連携に関する基本協定」が締結され、平成24年1月28日に5年間の有効期間延長、さらに平成29年1月28日に再延長を、その後令和4年1月28日に再々延長を行っている。

連携事項としては、(1)共同研究事業、(2)研究者及び学生の派遣・交流事業、(3)学術研究資料の交換事業、(4)その他、本協定の目的の達成に有益な事業であり、これらを行うために「連携協議会」を設置し、今後の連携交流の円滑な実施及び具体的な事業の推進を図ることとしている。令和4年度は、個別課題における連携強化及び新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、従来の全員参加型イベントではなく、具体の課題毎に関係する研究室と個別に Web 会議やメールで協議を行った。

連携協議会開催状況

課題名	連携先	日時	訪問者	内容	課題実施状況
RGB-Dカメラを用いた花き類形質のフェノタイプピング	農業生産システム設計学研究室 教授 岡安崇史	R5. 1. 11	農業研究部 花きグループ 主任研究員 安部良樹	分析対象の花き品目、部位について、2D、3D画像撮影・分析方法について助言頂いた。	研究課題：バイオテックとICTの融合による効率的育種技術の開発（県単予算：R5～7）
有害プランクトン検出センサーを用いた赤潮早期発見技術開発	水産生物環境学研究室 島崎 准教授	R5. 2. 21	水産研究部 主幹研究員 宮村和良	環境保全型養殖の技術開発において、有害プランクトンの検出を含め協議を実施した。	研究課題：IoT等の新技術を活用した有害・有毒プランクトン対策（県単予算：R3～5）で実施中

課題名	連携先	日時	訪問者	内容	課題実施状況
魚類疾病に対するワクチン等の効果を高める技術の開発	生命機能科学部門 中尾教授、長澤助教	R4. 5～ R4. 12 (12回)	水産研究部 主任研究員 山田英俊	免疫賦活剤の長期投与が養殖魚の免疫に与える影響評価や、体表粘液を用いた魚の生理状態評価技術の開発のための共同研究等を実施した。	研究課題：魚類疾病に対するワクチン等の効果を高める技術の開発（単予算：R2～4）で実施中

連携協議会関連行事

開催月日	場所	行事名	内容	参集者
R4. 4. 13	九州大学 農学部附属農場 高原農業実験実習場	九州大学大学院 農学研究院・大分 県農林水産研究 指導センター連 携報告会	① 令和4年度連携方法等について ② その他意見交換	九州大学農学部附属農場 高原農業実験実習場 高橋准教授 大分県農林水産研究指導センター 藤谷研究企画監、外園主幹

9. 受賞、学位取得の状況

(1) 受賞者一覧

林業研究部

受賞者	受賞名	表彰授与主体	受賞年月日	受賞の内容
上席主幹研究員 古曳 博也	第35回研究功績賞	全国林業試験研究機 関協議会	R5. 1. 17	大分県産木竹材の用途 開発に関する研究

きのこグループ

受賞者	受賞名	表彰授与主体	受賞年月日	受賞の内容
グループ長 有馬 忍	九州森林学会賞	九州森林学会	R4. 10. 21	椎茸栽培技術および病 害に関する調査
主幹研究員 山下和久	研究功績賞	全国林業試験研究機 関協議会	R5. 1. 17	乾シイタケ生産技術の 改善に関する研究とそ の普及
研究員 生野 柗大	毎日農業記録賞 入選	毎日新聞社	R4. 12. 5	発生2年目のシイタケ を増やす打木操作

（2）学位取得者

職名	氏名	取得年月日	取得大学	学位	学位論文テーマ
研究員	和田 宗一郎	R4. 9. 20	愛媛大学	博士（農学）	生息南限海域に分布するマコガレイの生態に関する研究

令和5年3月末時点での当センター在籍職員の学位（博士）保有者は8名である。

センター所属 : 保有8（2）※名

（農研1、林業1（1）※、きのこ2、水産4（1）※）

※（）内は会計年度任用職員の内数

センター以外の所属：保有7名

10. 主要な行事・会議等

（1）主な行事・会議等一覧表

開催年月日	行事名等	場所
R4. 7. 11～7. 13	農林水産部試験研究部門別評価会議	新型コロナ感染拡大により書面開催
R4. 8. 22～8. 24	農林水産部試験研究全体評価会議	〃
R4. 9. 29	農林水産部試験研究推進本部会議	県庁
R4. 10. 22～10. 23	農林水産祭への研究成果等の展示	別府公園

（2）所属長会議及び企画調整会議の開催

各試験研究機関との連絡調整を図るため、本部と各研究部長・グループ長とで構成する所属長会議及び各研究部、グループの企画指導担当（総括）等で構成する企画調整会議を開催した。

なお、所属長会議は4回、企画調整会議は3回開催した。

11. 予算概要

令和4年度当初予算（経常的経費〔人件費を除く〕）

（単位：千円）

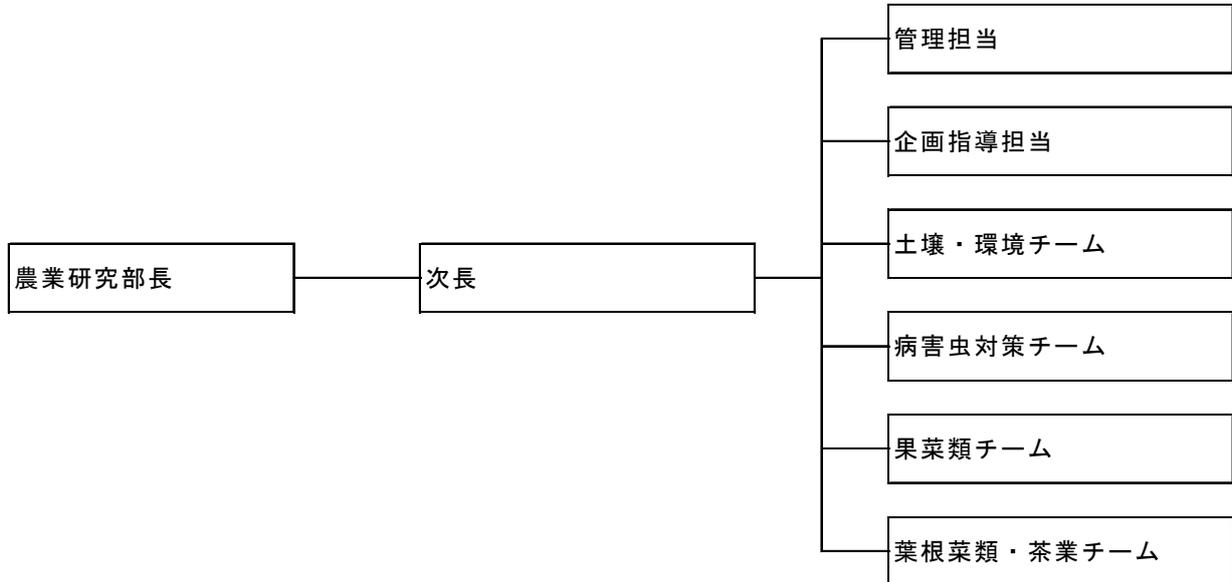
区 分	試験研究調整費	管理運営費 ＋管理予算	施設整備費	試験研究費	計
試験研究調整費 （農林水産研究指導センター本部）	12,554				12,554
農林水産研究指導センター施設整備事業			88,618		88,618
農業研究部		55,698		41,896	97,594
水田農業グループ		22,871		16,176	39,047
果樹グループ		23,491		25,558	49,049
花きグループ		13,906		13,205	27,111
畜産研究部		69,100		133,234	202,334
林業研究部		19,286		10,959	30,245
きのこグループ		6,944		9,469	16,413
水産研究部		29,383		42,332	71,715
北部水産グループ		20,767		24,130	44,897
合計（農林水産研究指導センター）	12,554	261,446	88,618	316,959	679,577

II 各研究部・グループの概要

II-1 農業研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和4年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部	長		1					1	
次	長	1						1	兼センター管理調整監
管	理	5						5	
企	画		3					3	
土	壌		7	1				8	
病	害		9			1		10	
果	菜		9	3				12	技師のうち農業技術員2名
葉	根		6		1	1		8	
	計	6	35	4	1	2	0	48	

（3）業務

県の短期集中品目を中心に、生産現場の課題解決に直結した研究開発を行い、得られた成果を速やかに生産者へ普及する。試験課題は生産者や消費者・実需者のニーズを的確に捉えたものとし、高品質・安定生産・省力化のための生産技術、ドローン等を活用した生育診断等のスマート農業技術、IPMに基づいた病虫害防除技術および地域未利用資源の新たな活用技術等を開発し実証する。またオリジナル品種の育成や優良品種の選定等に取り組む。

企画指導担当

- ①試験研究の企画調整と進行管理
- ②研究成果のとりまとめと活用
- ③農業情報（気象データ）の管理と提供
- ④研究員の育成

土壌・環境チーム

- ①農産物の安全・安心や環境に優しい農業生産技術の研究
- ②未利用資源の農業活用技術に関する研究
- ③肥料取締分析と農業試験検査事務に係る分析
- ④IoTなど新技術を活用した野菜類栽培の省力化技術の研究
- ⑤土壌環境の改良に関する研究
- ⑥農産物の栄養・機能性成分の調査、分析

病虫害対策チーム

- ①IPMに基づいた病虫害防除技術の開発、実証
- ②難防除病虫害、薬剤耐性菌・抵抗性害虫対策に関する研究
- ③主要農作物の病虫害発生予察に関する研究
- ④国内未発生病害虫に関する植物検疫
- ⑤マイナー作物への適用農薬の登録推進

果菜類チーム

- ①気象変動に対応したトマトのかん水技術と裂果対策
- ②西日本一の夏秋ピーマン産地を支える抵抗性品種の選抜及び栽培技術の確立
- ③イチゴ育種技術の改善と新品種候補の育成
- ④イチゴの高品質安定生産技術の確立

葉根菜類・茶業チーム

- ①根深ネギ、カンショ、サトイモ等の栽培技術に関する研究
- ②カンショのウイルスフリー苗の供給
- ③茶の栽培技術および病虫害防除技術に関する研究
- ④茶の品種選定

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
1) 大課題 I 中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分: 1)、(1)				
1) 研究分野: I 実用化研究(基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの)				
I 構造改革の更なる加速のための技術開発(イノベーション・流通対策)				
施設葉菜類のハウス内環境制御技術の確立	土壌・環境	大分大学、豊肥振興局	R4~6	県単
1) 土壌水分・ECセンサによる新型かん水・施肥制御装置の開発				
革新的な省力栽培技術の開発	土壌・環境	豊肥振興局、大分高専	R4~6	県単、一部国庫
1) ドローンリモートセンシングによる大規模経営体の経営効率化支援技術の確立				
2) 労働力不足に対応した施設葉菜類の安定生産技術の確立	葉根菜類・茶業	-	R1~4	県単
II マーケットインの商品(もの)づくりを加速するための技術開発(高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種)				
いちごの県オリジナル品種の品種登録と普及	果菜類	-	R2~4	県単
1) 「ベリーツ(大分6号)」の高品質安定生産技術の確立				
いちごの県オリジナル品種の育成	果菜類	-	R4~6	県単
1) 省力栽培可能なイチゴ品種の育成と次世代育種技術の導入				
市場動向に対応した白ねぎの夏秋期安定出荷技術の確立	葉根菜類・茶業	-	R3~5	県単
1) 根深ネギの大苗育苗技術を利用した新たな栽培体系の確立				
規模拡大に対応する土地利用型作物生産技術の確立	葉根菜類・茶業	-	R4~6	県単
1) 土地利用型作物の優良種苗生産技術の確立				
みどりの食料システム戦略の実現に向けた病害虫総合防除技術の確立	病害虫対策	大分大学、東部・中部・南部振興局	R4~6	県単
1) 湿度に着目した「ベリーツ」の病害虫発生抑制技術の開発				
2) 夏秋トマト栽培で問題となるコナジラミ類の防除技術の開発	病害虫対策	豊肥振興局	R4~6	県単
3) 黒ボク土壌域における根深ネギの黒腐菌核病の防除体系の確立	病害虫対策	豊肥振興局	R3~5	県単
4) 天敵を活用した「おおば」の害虫防除体系の構築	病害虫対策	中部振興局	R3~5	県単
III 力強い担い手を育成するための技術開発(省力化、大規模化)				
果菜類の安定生産技術の開発	果菜類	-	R2~4	県単
1) 気象変動に対応したトマトのかん水技術と裂果対策				
夏秋ピーマンの省力・安定生産技術の開発	果菜類	-	R3~5	県単
1) 西日本一の夏秋ピーマン産地を支える抵抗性品種の選抜及び栽培技術の確立				
ドリンク茶生産管理技術の確立	葉根菜類・茶業	-	R4~6	県単
1) 大規模経営に対応したドリンク茶生産管理技術の確立				
高品質・安定生産・省力化のための茶園管理技術の開発	葉根菜類・茶業	農研機構	長期	県単、一部国庫
1) 茶試験圃場の育成				
ウィルスフリー苗の作出	果菜類	-	長期	県単
1) イチゴのウィルスフリー苗の育成				
2) カンショの茎頂培養によるウィルスフリー苗育成	葉根菜類・茶業	-	長期	県単
IV 地域資源等の活用と環境対策等の技術開発(地域資源、省エネ・環境対策)				
環境に優しく地域資源を活用した農業生産技術の開発	土壌・環境	南部振興局、日本製鉄(株)	R1~4	県単、一部委託
1) 農業分野における転炉スラグの活用拡大に関する技術構築				
2) 水田畑地化圃場における土壌改良技術の確立	土壌・環境	水田農業グループ、各振興局	R2~4	県単

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
1) 大課題 I 中課題 ・研究項目 ※「研究項目」以下の区分:1)、(1)				
2) 研究分野: II 基礎調査研究(長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの)				
・ 委託薬剤試験 1) 安全生産技術に関する研究	病虫害対策	各振興局	長期	県単、一部委託
・ マイナー作物農薬残留調査 1) 農薬残留特殊調査(マイナー作物への登録拡大)	病虫害対策	大分県薬剤師会、 北部振興局	長期	県単
・ 病虫害発生予察情報(普通作・野菜・果樹・茶) 1) 病虫害発生予察事業 2) チャの主要病虫害防除対策	病虫害対策 葉根菜類・茶業	-	長期 長期	県単、一部国庫 県単、一部委託
・ 農業情報の提供(生育状況、気象データ) 1) 農業情報の提供(気象データ)	企画指導担当	水田農業・果樹・ 花きグループ	長期	県単
・ 土壌情報の活用 1) 農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	土壌・環境	各振興局	長期	国庫
・ 土壌肥料検査業務 1) 土壌肥料検査業務	土壌・環境	-	長期	県単、一部委託
・ 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援 1) 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援	土壌・環境	-	長期	県単、一部委託

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
令和3年度農業研究部試験研究成績書 CD版	R5.3	409	39
令和4年度植物防疫事業成績書(年報)	R5.3	81	50
大分県農林水産研究指導センター研究報告 (農業研究部編)第9号 CD版	R5.3	23	80

（2）学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
祖田嘉教・古閑凜太郎 ・玉野井昭・坂本誠毅 ・山崎修一	大分県におけるイチゴ灰色かび病菌の薬剤感受性	九州病害虫研究会報	第68巻	36-43
鈴木智範・福本律子・ 山崎修一	大分県におけるネコブセンチュウ種の発生状況およびトマトにおける抵抗性打破個体群の検出	九州病害虫研究会報	第68巻	63-67
伊東拓真・山村駿太郎 ・伊藤玲央・山崎修一	大分県におけるアザミウマ類の薬剤感受性について（講要）	九州病害虫研究会報	第68巻	86-87
新井康平・外園佳子	Method for Determination of Tealeaf Plucking Date with Cumulative Air Temperature:CAT and Photosynthetically Active Radiation: PAR	International Journal of Advanced Computer Science and Applications	Vol. 13	939-944

（3）研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R4. 10. 13	第85回（令和4年度）九州農業研究発表会・園芸学会九州支部第62回大会	廣末徹・埴谷博一	TSWV抵抗性ピーマン「TSRさらら」増収のための整枝法
R4. 10. 19	第85回（令和4年度）九州農業研究発表会・日本土壌肥料学会九州支部例会	久保田梨沙・藤谷渉・玉井光秀	小ネギ栽培におけるかん水方法の違いが土壌水分・収量等に与える影響
R4. 10. 19	第85回（令和4年度）九州農業研究発表会・日本土壌肥料学会九州支部例会	工藤新一・佐伯知勇・羽田豪	マルチコブターを活用した白ねぎの生育診断技術の開発
R4. 11. 16 ～11. 17	日本植物病理学会九州部会第73回講演会	Kongpuang Kamonpob, Soda, Y., Sakamoto, M., Yamasaki, S., Takeshita, M	Evaluation of heat-treated seeds on inactivation of soybean-infecting viruses.
R5. 2. 2	九州病害虫研究会第102回研究発表会	伊東拓真・伊藤玲央・山崎修一	大分県のシソにおけるアザミウマの発生実態と定植時防除薬剤の選定について
R5. 2. 2	九州病害虫研究会第102回研究発表会	山元美祐・玉野井昭・山崎修一	大分県におけるシロイチモジヨトウの薬剤感受性について
R5. 3. 27 ～3. 29	令和5年日本植物病理学会大会研究発表会	祖田嘉教・小倉李来・坂本誠毅・玉嶋勝範・山崎修一・竹下稔	放射状着色および茶褐色を呈するダイズ種子からの感染ウイルスの識別検出

（4）研究成果発表会等

該当なし

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R4. 4. 5	JAおおいた豊後大野ピーマン部会三重支部講習会	JA おおいた豊後大野畜産センター	15	JA おおいた豊後大野ピーマン部会三重支部
R4. 4. 8	オオバ生産者講習会	J A おおいた東部資材センター	15	J A おおいた中部事業部
R4. 4. 14	高糖度かんしょ担当者会議	WEB	9	地域農業振興課
R4. 4. 26	大分県農業用無人航空機安全使用研修会	大分県農協	30	地域農業振興課
R4. 4. 27	土壌断面調査研修	宇佐市伏田	10	
R4. 5. 9	製茶加工研修	農業研究部	10	大分県茶業協会
R4. 5. 11	専門技術研修（安全農業・1年目）	農業研究部	12	地域農業振興課
R4. 5. 12	専門技術研修（安全農業・1年目）	農業研究部	12	地域農業振興課
R4. 5. 26	専門技術研修（基礎：野菜）	農業研究部	7	地域農業振興課
R4. 5. 26	ピーマン黄化えそ現地講習会	臼杵市野津町現地	20	J A おおいた南部事業部
R4. 5. 26	オオバ生産者講習会	J A おおいた東部資材センター	15	J A おおいた中部事業部
R4. 5. 27	専門技術研修(基礎：野菜)	農業研究部	5	地域農業振興課
R4. 5. 30	ピーマン黄化えそ現地講習会	臼杵市野津町現地	30	J A おおいた南部事業部
R4. 5. 31	ピーマン黄化えそ現地講習会	臼杵市野津町現地	50	J A おおいた南部事業部
R4. 6. 7	スナップエンドウの土壌断面調査研修	杵築市現地	8	
R4. 6. 17	専門技術研修(基礎：野菜)	農業研究部	10	地域農業振興課
R4. 6. 21	製茶加工研修・官能評価研修	農業研究部	10	地域農業振興課
R4. 7. 6	さといも振興協議	農業研究部	7	豊肥振興局
R4. 7. 11	土壌断面調査研修	大分市下宗方	15	
R4. 7. 12	課題解決研修（野菜）	農業研究部	32	地域農業振興課
R4. 7. 12	佐伯苺部会栽培講習会	佐伯市木立地区公民館、佐伯市蒲江振興局名護屋出張所	24	南部振興局
R4. 7. 21	おおいたの農業農村施策研修会	大分県水産会館	45	農村整備計画課長
R4. 7. 27	令和4年度いちごI P M技術研修会	大分県農業協同組合本部	82	大分県、大分県農業協同組合
R4. 7. 28	「なつほのか」技術者研修会	水田農業グループ	55	水田畑地化・集落営農課
R4. 8. 9	白ネギドローン防除研修会	豊後大野市大野公民館、現地圃場	40	豊肥振興局
R4. 8. 9	土壌断面調査研修	竹田市荻町	6	
R4. 8. 24	環境制御技術研修会（トマト）	竹田市役所、圃場	30	大分県スマート農業推進協議会
R4. 8. 30	大分白ねぎ連絡協議会「担い手部会」技術研修会	農業研究部	30	大分白ねぎ連絡協議会

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R4. 8. 31	専門技術研修（野菜1年目）	農業研究部	10	地域農業振興課
R4. 9. 2	専門技術研修（安全農業・土壌1年目）	農業研究部	12	地域農業振興課
R4. 9. 6	高糖度かんしょ担当者会議	WEB	9	地域農業振興課
R4. 9. 9	環境制御技術研修会（イチゴ）	うすき組合ホール、 圃場	30	大分県スマート農業推進協議会
R4. 9. 13	大分白ねぎ連絡協議会「担い手部会」 技術研修会	豊後高田集出荷場	15	大分白ねぎ連絡協議会
R4. 9. 15	課題解決研修（茶）	農業研究部	11	地域農業振興課
R4. 9. 21	課題解決研修（普通作物第1回）	水田農業グループ	26	地域農業振興課
R4. 9. 22	土壌断面調査研修	佐伯市宇目町	8	
R4. 9. 28	土壌断面調査研修	由布市庄内町	10	
R4. 9. 30	有機物利用促進研修会	農業研究部	50	地域農業振興課
R4. 10. 12	はるみずきうどんこ病対策研修会	水田農業グループ	15	地域農業振興課
R4. 10. 21	専門技術研修（基礎：野菜）	農業研究部	9	地域農業振興課
R4. 10. 26	JA 営農指導員研修	農業研究部	2	JA 大分中央会
R4. 10. 27	JA 営農指導員研修	農業研究部	2	JA 大分中央会
R4. 10. 27	土壌肥料・病害虫に関する研修会	農業研究部	40	大分県肥料植物防疫協会
R4. 11. 8	専門技術研修（野菜1年目）	農業研究部	7	地域農業振興課
R4. 11. 8	ピーマン病害虫対策講習会（野津）	臼杵市アグリ起業 学校	15	臼杵市アグリ起業学校、 中部振興局
R4. 11. 9	白ねぎ品種研修会	豊後大野市大野公 民館	40	豊肥振興局
R4. 11. 15	日田式循環型農業推進協議会講演会～ 施肥の有効活用で品質の高い作物づく り～	日田市中央公民館	25	日田式循環型農業推進協 議会
R4. 11. 16	普及方法（1年目基礎：後期）研修	農業研究部	11	地域農業振興課
R4. 11. 16	普及方法（1年目基礎：後期）研修	農業研究部	11	地域農業振興課
R4. 11. 18	鐵鋼スラグ協会肥料ワーキング勉強会	農業研究部	16	鐵鋼スラグ協会
R4. 11. 28	課題解決研修（野菜）	農業研究部	25	地域農業振興課
R4. 11. 29	イチゴ萎黄病対策研修	臼杵市イチゴ生産 圃場	10	地域農業振興課
R4. 12. 1	課題解決研修（土壌・基礎）	農業研究部	4	地域農業振興課
R4. 12. 9	ドリンク茶研修	農業研究部	5	東部振興局
R4. 12. 12	施肥防除対策研修会	大分農業文化公園	120	地域農業振興課
R4. 12. 13	水田の畑地化による園芸振興研修会	宇佐市役所安心院 複合所多目的ホー ル、現地圃場	80	大分県園芸活性化協議 会、園芸振興課
R4. 12. 26	課題解決研修（土壌・専門）	農業研究部	4	地域農業振興課
R5. 1. 26	芋セミナー	オンライン	60	民間企業

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5. 1. 27	ドローン空撮実演およびQGIS（地理情報システム）等活用実演研修	農業研究部	8	
R5. 2. 1	農薬指導士認定研修	大分県教育会館	57	地域農業振興課
R5. 2. 17	土壌断面調査研修	臼杵市福良木	5	
R5. 2. 20	新規就農機関リモート研修	農業研究部 （オンライン）	42	新規就業・経営体支援課
R5. 3. 7	農事研修会	ホルトホール大分	40	大分県農薬販売協同組合
R5. 3. 7	高糖度かんしょ担当者会議	県庁新館 B23 会議室	10	地域農業振興課
R5. 3. 15	令和4年度豊肥管内白ねぎ土作り・獣害対策研修会	豊後大野市大野公民館	50	豊肥振興局
R5. 3. 23	白ねぎ技術担当者会議	農業研究部	14	地域農業振興課
R5. 3. 23	大葉生産者講習会	J A おおいた 東部 資材センター	18	J A おおいた 中部事業部

（2）受入研修

①長期研修者受け入れ

該当なし

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	1	5
団体等職員	7	21
普及指導員	35	54
学生	2	2
児童・生徒	0	0
海外からの視察者	0	0
その他	8	33
計	53	115

※大学

※小中高校

（3）指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
農業分野における転炉スラグの活用拡大	転炉スラグの導入により増収や病害虫抑制など効果が見込める圃場への普及を図る。	スラグの課題について現地普及を行うため、東部振興局管内にスナップエンドウの試験区を設置した。R5の5月ごろに病害発生状況を調査する。
ほ場における土壌水分・ECの動態把握	土壌センサを活用し土壌・環境チームで考案した手法を用いて現地の土壌水分およびECの動態を把握する。	小ネギ（4地点）、ナス（3地点）、スイートピー（3地点）でデータ取得を行い、栽培中の主要根群域の土壌水分の推移実態を明らかにした。

II-2 水田農業グループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和4年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務 技師	業務 技師	事務 補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	
管理担当		3						3	
企画指導担当			1					1	
水田農業チーム			7	3				10	
計		3	9	3	0	0	0	15	

(3) 業務

- ① 稲・麦・大豆の品種の育成・選定、栽培技術改善
- ② 稲・麦・大豆の優良種子生産
- ③ 水田畑地化を実現するための技術開発
- ④ 水田大規模経営体の生産性向上を目的とした技術開発

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
1) 大課題 I 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)				
1) 研究分野：I 実用化研究(基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの)				
I 構造改革の更なる加速のための技術開発(イノベーション・流通対策)				
・ ICT、RTを活用した生産環境情報収集による低コスト化技術の開発 1) 水田農業の経営安定化に向けた経営最適化システムの開発	水田農業	振興局	R2~4	県単
II マーケットインの商品(もの)づくりを加速するための技術開発(高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種)				
・ 食味、機能性、安全性などに優れた品種の選定と栽培技術の確立 1) 水田農業転換期を支える多収型優良品種の導入に向けた栽培法の確立 【外部資金課題名：センシング技術を駆使した畑作物品種の早期普及と効率的生産システムの確立】	水田農業	振興局	R1~6 【R2~6】	県単 国庫
2) 水稲・麦・大豆の品種選定 【一部令達(地域農業振興課、農地活用・集落営農課)】 【外部資金課題名：センシング技術を駆使した畑作物品種の早期普及と効率的生産システムの確立】 【外部資金課題名：安全安心な農業用ハイスペックドローン及び利用技術の開発】	水田農業	(国研) 農研機構 水集課、 振興局	R1~6 【R2~6】 【R3~R5】	県単 国庫
3) 地場食品企業とタイアップした県産麦による地域ブランドの強化に向けた技術開発	水田農業	ヤクルト HF(株)、 佐々木食 品工業 (株)、三 和酒類 (株)、宇 佐パン粉 (有)	R3~5	県単
4) ドローンを活用した高温登熟耐性品種「なつほのか」の栽培法の確立	水田農業	振興局	R4~6	県単
III 力強い担い手を育成するための技術開発(省力化、大規模化)				
・ 水田フル活用に向けた新規需要米 ※、麦・大豆の低コスト安定栽培技術の確立 1) 大規模経営体に対応した麦類の高速播種システムの確立	水田農業	(株)中 九州クボ タ	R2~4	県単
2) 水田農業経営体向け畑地化推進品目えだまめ・はとむぎ栽培法の確立	水田農業	振興局	R4~6	県単
・ 農地集積や大区画化に対応した水田営農システムの確立 1) 播種適期の拡大と排水対策による麦類の収量安定生産技術の確立 【外部資金課題名：センシング技術を駆使した畑作物品種の早期普及と効率的生産システムの確立】	水田農業	振興局	H30~R6 【R2~6】	県単 国庫
・ 帰化植物、薬剤抵抗性等の難防除雑草の防除技術の開発 1) 生育制御と雑草防除による大豆の高位安定生産技術の確立 【外部資金課題名：農業被害をもたらす侵略的外来種の管理技術の開発】	水田農業	(国研) 農研機 構、振興 局	R2~6	県単 国庫
IV 地域資源等の活用と環境対策等の技術開発(地域資源、省エネ・環境対策)				
・ 焼酎粕等の未利用資源の活用による地域循環型栽培法の確立 1) 地場食品企業とタイアップした県産麦による地域ブランドの強化に向けた技術開発(前出) 【繰入金：産業廃棄物税充当事業費】	-	-	-	-
2) 研究分野：II 基礎調査研究(長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの)				
・ 主要農作物(水稲、麦類、大豆)の優良種子管理 1) 主要農作物等種子対策事業	水田農業	水集課、 振興局	長期	県単
・ 水稲、麦類、大豆の作柄判定調査の情報提供による生産指導支援 1) 水稲、麦類、大豆の作柄判定調査	水田農業	水集課、 振興局	長期	県単

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
水稻早生品種「なつほのか」栽培のポイント	R5.2	6	4,800
醤油用・パン用小麦「はるみずき」栽培のポイント	R5.3	8	700

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
清田梨華	二条大麦における肥効調節型肥料を用いた全量基肥播種溝施肥法	農業と科学	2022.5月号	5-10
長島泰一	ムギの上から堆肥散布！農繁期を避けて地力&収量アップ	現代農業	2022.12月号	104-107
長島泰一・清田梨華 ・河野礼紀・山崎哲・ 香月望・藤谷渉・柿原 千代文・山本真梨子 ・近乗偉夫	オオムギ生育初期における牛ふん堆肥の施用が作物の生育および収量に与える影響	研究報告(農業研究部編)	第9号 令和5年3月	1-16

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R4.6.15~8.15 (映像配信)	「焼酎セミナー」(公益財団法人日本醸造協会)	野村充	大分県オリジナル焼酎用大麦品種「トヨノホシ」の開発
R4.10.13	持続性の高い農業生産推進セミナー	長島泰一	麦生育期の牛糞堆肥散布技術
R4.10.19	第85回九州農業研究発表会 作物部会	清田梨華・近乗偉夫・河野礼紀	大規模経営体に対応した麦類の高速播種を可能にする耕耘同時畦立播種機の検討
R4.11.10	第45回水稻土壌肥料研究会	長島泰一	麦生育期の牛糞堆肥散布技術
R4.12.16	日本育種学会 九州育種談話会	野村充	大分県オリジナル焼酎用大麦品種「トヨノホシ」の開発

(4) 研究成果発表会等

該当なし

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R4. 7. 1	排水対策(フォス)研修会	宇佐市	15	豊後大野市、豊肥振興局、生産者
R4. 7. 28	水稻新品種「なつほのか」技術研修会	宇佐市	55	JA、食糧集荷組合、振興局、水田畑地化・集落営農課
R4. 8. 4	スマート水田農業実演会	宇佐市	23	生産者、JA、振興局
R4. 8. 30	専門技術研修	宇佐市	7	振興局
R4. 9. 14	北部地区スマート水田農業研修会	宇佐市	48	生産者、JA、北部振興局
R4. 9. 21	普通作物課題解決研修	宇佐市	26	振興局、水田畑地化・集落営農課
R4. 9. 22	小麦新品種「はるみずき」研修会	宇佐市	40	生産者、JA、北部振興局
R4. 11. 11	特 A 取得研修会	宇佐市	20	JA、振興局、水田畑地化・集落営農課
R4. 12. 8	水稻新品種「なつほのか」技術研修会	日田市	40	生産者、JA、西部振興局
R4. 12. 19	自動操舵システム体験研修会	宇佐市	22	生産者、振興局
R5. 2. 7	小麦新品種「はるみずき」研修会	中津市	60	生産者、JA、振興局
R5. 2. 10	小麦新品種「はるみずき」研修会	国東市	30	生産者、JA、振興局
R5. 2. 16	「なつほのか」・麦作推進技術研修会	別府市	27	振興局、水田畑地化・集落営農課

(2) 受入研修

①長期研修者受入

該当なし

②生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	5	26
団体等職員	28	73
普及指導員	5	55
学生	1	2
児童・生徒		
海外からの視察者		
その他		
計	42	156

※大学

※小中高校

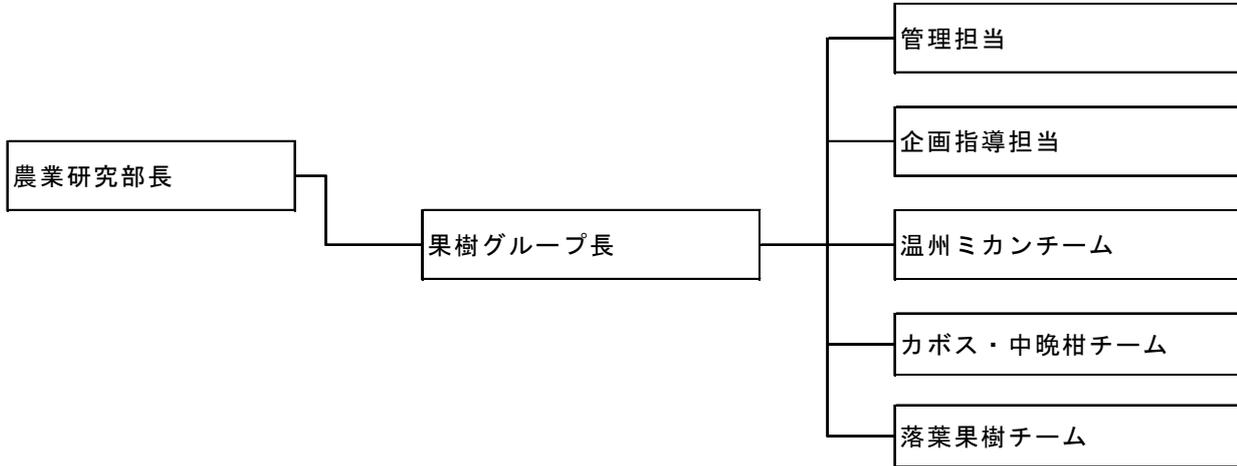
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

該当なし

II-3 果樹グループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和4年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	農業技術員	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	
管理担当		1						1	
企画指導担当			1					1	
温州ミカンチーム			4		1		1	6	
カボス・中晩柑チーム			4		1			5	
落葉果樹チーム			5			1	1	7	
計		1	15	0	2	1	2	21	

(3) 業務

- ①温州ミカンの優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ②カボス・中晩柑等の育種、優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ③落葉果樹の育種、優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ④ハウスミカン、施設中晩柑に関する試験研究
- ⑤カンキツ及び落葉果樹の病害虫に関する試験研究
- ⑥生産者に対する研修及び現地指導

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
1) 大課題 I中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)				
1) 研究分野：I 実用化研究（基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの）				
I 構造改革の更なる加速のための技術開発（イノベーション・流通対策）				
・ キウイフルーツの栽培技術の開発 1) 新規参入者にやさしいキウイフルーツ栽培技術開発	落葉果樹		R4~6	県単
II マーケットインの商品（もの）づくりを加速するための技術開発（高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種）				
・ かんきつ品種の育成と栽培技術の確立 1) 県南地域に適した中晩柑の高品質生産技術の確立及びオリジナル品種の開発	カボス・中晩柑		R2~4	県単
・ かんきつ優良品種の選定と栽培技術の確立 1) カンキツの系統適応性検定試験	温州ミカン カボス・中晩柑		R4~6 R4~6	県単 県単
・ ハウスみかんの省エネ及び高収益栽培技術の確立 1) ハウスミカンの着花安定と垣根仕立て栽培の低樹高省力栽培技術の確立	温州ミカン		R3~6	県単
・ なしの早期成園化及び高生産技術の確立 1) ナシの作業性に優れた「改良流線型仕立」栽培法と側枝発生促進技術の開発	落葉果樹		R2~4	県単
・ なし極早生品種の育成と栽培技術の確立 1) 落葉果樹の系統適応性検定試験	落葉果樹		R4~6	県単
・ 特色あるワイン専用品種の育成及び栽培技術の確立 1) 落葉果樹の系統適応性検定試験	落葉果樹	三和酒類 (株)	R4~6	県単
・ 落葉果樹の優良品種の選定と栽培技術の確立 1) ブドウの高収量栽培、早期成園化技術と新品種の安定生産技術の確立 2) 落葉果樹の系統適応性検定試験	落葉果樹 落葉果樹		R2~4 R4~6	県単 県単
・ かぼすの周年安定出荷のための栽培及び貯蔵技術の確立 1) カボス「大分果研6号」の産地導入に向けた生産貯蔵技術の確立	カボス・中晩柑		R4~6	県単
・ 果樹の病害虫防除体系の確立 1) 果樹の病害虫防除並びに植物生長調節剤に関する試験	果樹 グループ		R4~6	県単・国庫
III 力強い担い手を育成するための技術開発（省力化、大規模化）				
・ 温州みかんの省力化技術の開発 1) スマート技術の活用と新植栽方式による温州みかんの省力化技術の開発	温州ミカン	大分高専	R4~6	県単
IV 地域資源等の活用と環境対策等の技術開発（地域資源、省エネ・環境対策）				
・ 温暖化に適応可能な新たな果樹品目の探索と栽培技術の確立 1) カンキツ系統適応性検定試験	温州ミカン		R4~6	県単
2) 研究分野：II 基礎調査研究（長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの）				
・ 生態調査	温州ミカン		長期	県単
・ 生態調査と優良穂木の管理	カボス・中晩柑		長期	県単
・ 農業情報の提供（生態調査）	落葉果樹		長期	県単
・ 優良品種系統の原母樹の確保と優良穂木の管理	落葉果樹		長期	県単
・ 地元ゆかりの動植物の保存	落葉果樹		長期	県単

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
令和3年度大分県農林水産研究指導センター 果樹グループ試験研究年報 CD 版	R4. 10. 25	88	100 枚

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
望月雅俊・ 檀原 稔	シトロネラオイルを用いたミカンバエの捕獲効率の向上	植物防疫	第76巻 第9号 (2022年)	483-488
Pattara Opadish・ Satsuki Iwamoto・ <u>Minoru</u> <u>Narahara</u> ・ Yoshio Okazaki ・Yoshimitsu Higashiura・Jun Otake・Hajime Ono・Norihide Hinomoto	Development of microsatellite markers for the Japanese orange fly, <i>Bactrocera tsuneonis</i> (Diptera:Tephritidae) ミカンバエ(ハエ目:ミバエ科)のマイクロサテライトマーカーの開発	Applied Entomology and Zoology 日本応用動物昆虫学会英文誌	Volume57 Number 3 (2022年)	283-288
<u>山口竜一</u> ・ <u>大友希美</u> ・ <u>檀原稔</u> ・ 世古雅一・河野雅俊・若月洋・ 桂奈央・河津恵・ 上曾山茂	3倍体カボス新品種‘大分果研6号’の特性	大分県農林水産研究指導センター研究報告(農業研究部編)	第9号 (2023.3)	17-23

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R4. 10. 13	第85回九州農業研究発表会 果樹部会(園芸学会九州支部)	野村雄太	マルドリ方式による「大分果研4号」の安定生産技術
R4. 10. 13	第85回九州農業研究発表会 果樹部会(園芸学会九州支部)	久井田曜陽	「おおいた早生」の樹上完熟栽培技術の開発
R5. 1. 17 ~1. 18	令和4年度九州沖縄農業試験研究推進 会議 果樹推進部会	久井田曜陽	完熟栽培ウンシュウミカン「おおいた早生」の浮き皮軽減技術
R5. 1. 17 ~1. 18	令和4年度九州沖縄農業試験研究推進 会議 果樹推進部会	渡邊久能	貯蔵中の「シャインマスカット」に発生した灰色かび病菌の薬剤感受性
R5. 1. 17 ~1. 18	令和4年度九州沖縄農業試験研究推進 会議 果樹推進部会	笠木啓喜	ニホンナシの改良流線型仕立栽培法の開発
R5. 3. 15	第67回日本応用動物昆虫学会大会	小野 肇・大田祥平・ 菅野伸哉・岡崎芳夫・ <u>野村雄太</u> ・ <u>檀原 稔</u>	ウンシュウミカン果実からのミカンバエ 痕跡DNAの検出

(4) 研究成果発表会等

該当なし

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R4. 4. 20	ドローン研修会	温州ミカンチーム	20	
R4. 5. 13	令和4年度第1回ナシ流線型仕立栽培研修会	日田市（小迫、入江、三和） 中津市山国町、由布市庄内町	8	地域農業振興課
R4. 5. 16	令和4年度特別研修（果樹）	落葉果樹チーム	10	地域農業振興課
R4. 6. 3	なし流線型樹づくり研修会	庄内町	7	地域農業振興課
R4. 6. 15	農業大学校果樹専攻学生研修	カボス・中晩柑チーム	2	農業大学校
R4. 6. 28	普及員果樹特別研修	カボス・中晩柑チーム	6	地域農業振興課
R4. 7. 5	若手生産者シャインマスカット研修会	宇佐市・豊後高田市	30	大分県園芸活性化協議会
R4. 7. 14	臼杵市みかん園防除対策班会議	臼杵市役所	10	臼杵市
R4. 7. 15	温州みかん摘果研修会	温州ミカンチーム	10	地域農業振興課
R4. 7. 25	普及員果樹特別研修会	落葉果樹チーム	10	地域農業振興課
R4. 8. 25	普及員果樹特別研修	カボス・中晩柑チーム	7	地域農業振興課
R4. 8. 29	専門技術研修	落葉果樹チーム	10	地域農業振興課
R4. 9. 16	津久見市シトラススクール	津久見市民会館	13	津久見市、中部振興局
R4. 9. 17	大分県なし研究会果実品評会	大分市	6	大分県園芸活性化協議会
R4. 9. 17	大分県ぶどう研究会果実品評会	大分市	6	大分県園芸活性化協議会
R4. 9. 28	ロボモア（自動草刈機）研修会	温州ミカンチーム	20	大分県柑橘研究会
R4. 9. 30	特別研修（極早生温州みかん収穫・選果等）	温州ミカンチーム	10	地域農業振興課
R4. 10. 4	みかん園検査識別研修会	大分県庁	15	地域農業振興課
R4. 10. 21	流線型仕立栽培研修	日田市（小迫、三和） 中津市山国町、由布市庄内町	8	地域農業振興課
R4. 10. 28	普及員果樹特別研修	カボス・中晩柑チーム	7	地域農業振興課
R4. 11. 21	果樹専門技術研修及び特別研修	由布市庄内町	17	地域農業振興課
R4. 11. 28	柑橘研究会研修	温州ミカンチーム	20	大分県柑橘研究会
R4. 12. 1	特別研修（ハウスミカン）	温州ミカンチーム	10	地域農業振興課
R4. 12. 23	果樹病虫害防除曆検討会	JA おおいた本店	30	大分県園芸活性化協議会
R5. 1. 13	杵築市柑橘研究会果実品評会	杵築市健康福祉センター	15	杵築市
R5. 1. 26	農業大学校果樹専攻学生研修	カボス・中晩柑チーム	13	農業大学校
R5. 2. 15	専門技術研修（温州ミカン剪定）	温州ミカンチーム	8	地域農業振興課
R5. 2. 20	若手生産者シャインマスカット総会	大分市	20	大分県園芸活性化協議会
R5. 2. 24	津久見市シトラススクール	カボス・中晩柑チーム	20	津久見市、中部振興局
R5. 2. 26	天ヶ瀬貯蔵ブドウ反省会	日田市	15	
R5. 3. 22	中晩柑研修会	県南柑橘選果場	20	大分県園芸活性化協議会

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5. 3. 24	大分県ブドウ研究会研修会	宇佐市	50	大分県園芸活性化協議会
R5. 3. 27	カンキツ接ぎ木研修会	温州ミカンチーム	10	地域農業振興課

（2）受入研修

①長期研修者受入

該当なし

②生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者	33	109	
団体職員	25	54	
普及指導員	28	137	
学生	5	30	※大学
児童・生徒	1	25	※幼小中高校
海外からの視察者	0	0	
その他	4	15	
計	96	370	

（3）指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
ブドウの高収量栽培、早期成園化技術と新品種の安定生産技術の確立	大量貯蔵での貯蔵リスクを低減させることで、貯蔵量の拡大を目指す。	貯蔵施設確保に向けた指導、袋かけ前防除指導、貯蔵指導等の徹底により、出荷期間の拡大と春節向け出荷量の増大を図ることができた。

Ⅱ-4 花きグループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和4年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	
管理担当		1						1	
企画指導担当			1					1	
花きチーム			6	2		1		9	
計		1	8	2	0	1	0	12	

(3) 業務

- ①花きの栽培および病害虫に関する研究
- ②バイオテクノロジーを活用した品種・農業技術の開発
- ③花きの研究成果の現地普及
- ④優良種苗の供給
- ⑤花き指導者、生産者に対する研修および現地指導

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当	連携	研究	予算
1) 大課題 I 中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分: 1)、(1)	チーム	機関	期間	区分
1) 研究分野: I 実用化研究(基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの)				
I 構造改革の更なる加速のための技術開発(イノベーション・流通対策)				
・オリジナル品目の開発 1) 水田畑地化に対応したホオズキ栽培体系の確立	花き		R2~4	県単
II マーケットインの商品(もの)づくりを加速するための技術開発(高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種)				
・高収益栽培技術の開発 1) 情勢変化に対応したキクの栽培技術確立	花き		R4~6	県単
・難防除病害虫防除技術 1) 花き類における省力的防除技術体系の構築	花き		R3~5	県単
・新規、高付加価値品目や新たな品種の開発 1) 新しい生活様式に対応した新規花き品目の探索と品目選定	花き		R3~5	県単
・統合環境制御技術の開発とマニュアル化 1) スイートピーのスマート管理に向けたかん水・施肥技術の確立	花き		R4~6	県単
III 力強い担い手を育成するための技術開発(省力化、大規模化)				
・地域特性に即した品種選定と栽培技術確立 1) トルコギキョウ夏秋産地拡大のための栽培技術の確立	花き		R2~4	
・新規、高付加価値品目や新たな品種の開発 1) 県育成品種識別技術の確立と花きオリジナル品種の育成(バイオ)	花き		R2~4	県単
2) 研究分野: II 基礎調査研究(長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの)				
・戦略品目や推進品目の種苗管理供給及び系統選抜 1) イチゴ茎頂培養によるウイルスフリー苗の養成 2) 優良種苗の供給	花き 花き		長期 長期	県単 県単
・薬草の特性把握、品種保存 1) 薬草の特性把握、品種保存	花き		長期	県単

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
令和3年度花きグループ試験成績書	R4.4.1	79	HP掲載

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
宮崎麻里子、岡本潤	ホオズキにおけるタバコノミハムシに対する有効薬剤の探索	九州病害虫研究会報	第68巻	87

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R4.12.22	令和4年度九州沖縄農業試験研究推進会議野菜・花き推進部会 遺伝子研究連絡会	安部良樹	大分県における最近のバイオテック研究
R5. 1.23 ~1.24	令和4年度九州沖縄農業試験研究推進会議野菜・花き推進部会 花き成績設計検討会	渡邊英城	輪ギク経営における輪作可能な品目選定と栽培技術確立 - 大分県オリジナル品目「ヤマジノギク」の活用
R5. 1.23 ~1.24	令和4年度九州沖縄農業試験研究推進会議野菜・花き推進部会 花き成績設計検討会	安部良樹	シンクロトロン光を用いたトルコギキョウ, ホオズキ, ヤマジノギクの突然変異育種

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R5. 1. 23 ~1. 24	令和4年度九州沖縄農業試験研究推進会議野菜・花き推進部会 花き成績設計検討会	志賀灯	トルコギキョウの夏秋期栽培における省力的なかん水方法の検討
R5. 1. 23 ~1. 24	令和4年度九州沖縄農業試験研究推進会議野菜・花き推進部会 花き成績設計検討会	尾山仁菜	ハボタンの1~2月出荷適品種の選定と適正施肥量の検討

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
ヤマジノギク研究報告会	R5. 3. 14	花きグループ	1	31

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R4. 4. 21 ~4. 22	トルコギキョウ栽培指導	久住高原農業高校	10	久住高原農業高校
R4. 4. 22	スイートピー視察研修	花きグループ	8	南部振興局
R4. 4. 28	トルコギキョウ栽培指導	久住高原農業高校	10	久住高原農業高校
R4. 5. 11	トルコギキョウ栽培指導	久住高原農業高校	10	久住高原農業高校
R4. 5. 17	花き栽培視察研修	花きグループ	25	中部振興局、大分市花き部会
R4. 5. 25	トルコギキョウ栽培指導	久住高原農業高校	10	久住高原農業高校
R4. 6. 9	トルコギキョウ定植指導	久住高原農業高校	10	久住高原農業高校
R4. 6. 13	ハボタン栽培指導	花きグループ	22	園芸活性化協議会
R4. 6. 17	トルコギキョウ定植指導	久住高原農業高校	10	久住高原農業高校
R4. 6. 23	ホオズキ栽培講習会	杵築市	35	園芸活性化協議会
R4. 6. 24	鉢物栽培研修会	花きグループ	28	大分県鉢物生産者協議会総会
R4. 7. 7	トルコギキョウ栽培指導	久住高原農業高校	10	久住高原農業高校
R4. 7. 15	ホオズキ栽培講習会	杵築市	28	園芸活性化協議会
R4. 7. 20 ~7. 22	花き専門技術研修	花きグループ	3	地域農業振興課
R4. 7. 27	トルコギキョウ栽培指導	久住高原農業高校	10	久住高原農業高校
R4. 8. 5	トルコギキョウ栽培見学会	久住高原農業高校	15	園芸活性化協議会
R4. 8. 26	6次産業化技術研修	花きグループ	19	くじゅうアグリ創生塾
R4. 9. 5	温泉熱利用研修	花きグループ	15	新産業振興室、龍谷大学
R4. 9. 13	ドライフラワー研修	農業文化公園	5	東部振興局
R4. 9. 21	花き専門技術研修	花きグループ	4	地域農業振興課
R4. 9. 29	ヤマジノギク現地指導	杵築市	5	地域農業振興課
R4. 9. 30	ヤマジノギク現地指導	玖珠町	5	地域農業振興課
R4. 10. 6	花き栽培指導	杵築市	3	農業文化公園
R4. 10. 7	キク栽培指導	花きグループ	2	

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R4. 10. 20	花き栽培指導	杵築市	3	農業文化公園
R4. 10. 25	温泉熱利用研修	花きグループ	1	鹿児島県
R4. 11. 2	課題解決研修	花きグループ	20	地域農業振興課
R4. 11. 8	生薬研修	杵築市山香町	20	杵築市、東京生薬協会
R4. 11. 9	温泉熱利用研修	花きグループ	2	新産業振興室
R4. 11. 11	ウイルスフリー化研修	花きグループ	3	東部振興局
R4. 11. 14	プリンセスリーフ染色研修会	全農おおいた	28	地域農業振興課
R4. 11. 22	温泉熱利用研修	花きグループ	30	北九州市自治会、新産業振興室
R4. 11. 24	花木視察研修	花きグループ	1	由布市
R4. 11. 25	花き生産グループ視察研修	花きグループ	15	別府市生花市場
R4. 11. 29	温泉熱利用研修	花きグループ	36	仙台高校、新産業振興室
R4. 11. 30	キキョウ定植指導	杵築市	5	東部振興局
R4. 12. 1	花き栽培研修	花きグループ	17	JA 国東種苗部会
R4. 12. 1 ～12. 2	花き専門技術研修	花きグループ	2	地域農業振興課
R4. 12. 5	プリンセスリーフ検討会	全農おおいた	5	全農おおいた
R4. 12. 7	花き情勢視察研修	花きグループ	20	豊後高田花き青年部、北部振興局
R4. 12. 8	生薬栽培指導	杵築市山香町	15	杵築市、東京生薬協会
R4. 12. 9	コギク栽培指導	杵築市	5	杵築市地域活性化センター
R4. 12. 20	温泉熱利用研修	花きグループ	2	新産業振興室、広島高校
R5. 1. 31	温泉熱利用研修	花きグループ	8	別府大学
R5. 2. 15	ウイルスフリー化研修	花きグループ	1	農業研究部
R5. 3. 2	花き栽培指導	杵築市	3	農業文化公園
R5. 3. 27	キキョウ育苗指導	花きグループ	2	杵築市

(2) 受入研修

①長期研修者受け入れ

該当なし

②生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	15	244
団体等職員	3	8
普及指導員	5	32
学生	2	23
児童・生徒	12	152
海外からの視察者	0	0
一般来場者	573	1,547
その他	8	86
計	618	2,092

※大学

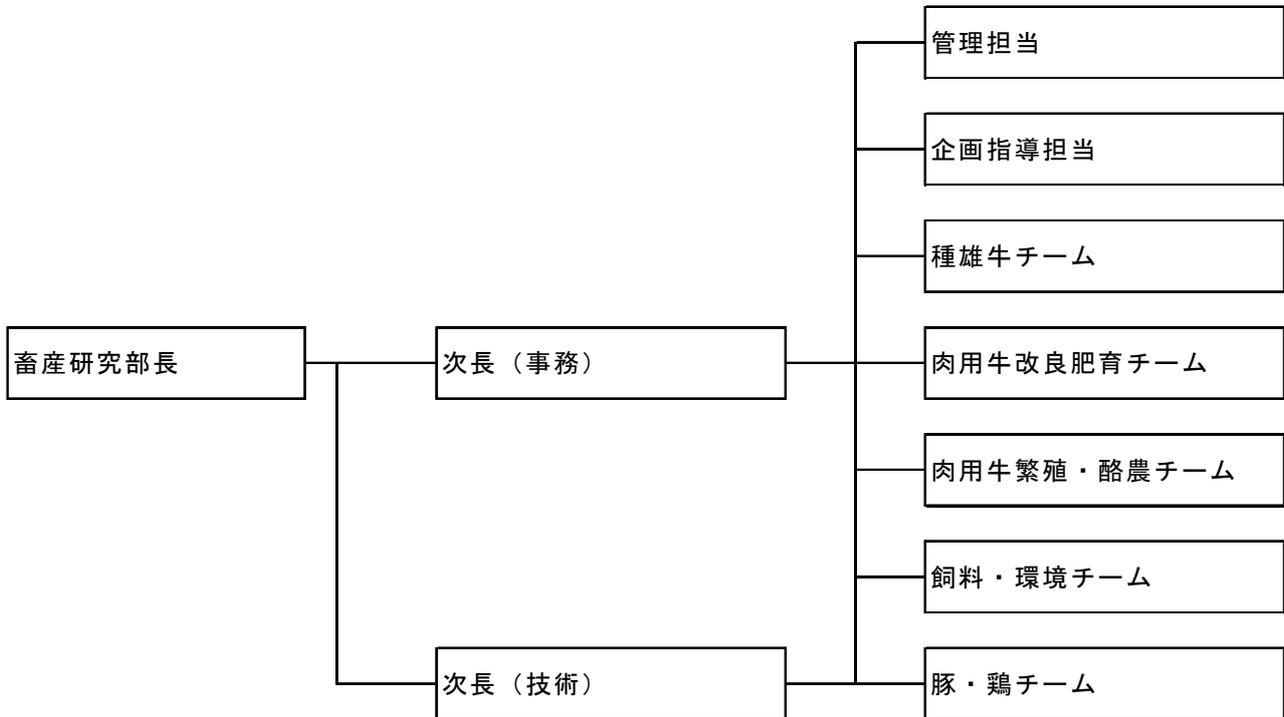
※小中高校

（3）指導・研修プロジェクトの実証
該当なし

II-5 畜産研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和4年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	農業技術員	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部	長		1					1	
次	長	1	1					2	
管	理	4						4	
企	画		2					2	
種	雄		2	1	1	1		5	
肉	用		4	2		2		8	
肉	用		5	4	1	2		12	
飼	料		5	3				8	
豚	・		7	2	3	1		13	
	計	5	27	12	5	6	0	55	

(3) 業務

- ①肉用牛の改良増殖、種雄牛造成並びに精液供給
- ②肉用牛の飼養技術及び繁殖技術
- ③乳用牛の飼養技術及び繁殖技術
- ④牧草及び飼料作物の系統選抜、栽培管理・貯蔵技術、自給飼料成分分析並びに畜産環境対策
- ⑤豚の育種、飼養技術並びに精液供給
- ⑥家きんの育種並びに飼養技術

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
1) 大課題 I 中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)				
1) 研究分野：I 実用化研究（基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの）				
I 構造改革の更なる加速のための技術開発（イノベーション・流通対策）				
・ 肉用牛・酪農の生産性向上と粗飼料基盤確立のための技術開発 1) 周年親子放牧に適した牧草種による周年放牧の実証	飼料・環境		R3~5	県単
・ 気候変動に対応した飼料基盤の開発 1) 越夏性に優れるライグラス新品種を用いた省力的な高位安定生産技術の開発	飼料・環境	農研機構	R4~8	イ/ハ
II マーケットインの商品（もの）づくりを加速するための技術開発（高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種）				
・ 性判別精液の普及技術の開発 1) 性判別精液の普及に向けた精子運動性及び受精能評価指標の確立	肉用牛繁殖・酪農・豚・鶏		R2~5	県単
・ 子牛の哺育・育成技術の開発 1) 早期出荷のための子牛育成及び肥育技術の確立	肉用牛繁殖・酪農		R3~5	県単
・ 豚の低コスト飼料給与技術の開発 1) 肥育豚への籾米サイレージおよび未利用資源給与技術の確立	豚・鶏		R3~5	県単
III 力強い担い手を育成するための技術開発（省力化、大規模化）				
・ 牛の受胎率向上技術の開発 1) 生産者の所得向上を目指した雌雄産み分け技術の確立	肉用牛繁殖・酪農・豚・鶏	広島大学	H30~R4	県単
2) 高能力な乳用後継牛の確保に向けた受胎率の高い体外受精卵生産方法の検討	肉用牛繁殖・酪農		R4~6	県単
2) 研究分野：II 基礎調査研究（長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの）				
・ 優秀種雄牛の造成 1) 種雄牛検定 (1) 直接法 (2) 現場後代法 2) 大分県種雄牛の産肉性に関する遺伝子領域解析及び効果検証	肉用牛改良・肥育 肉用牛改良・肥育 肉用牛改良・肥育	家畜改良センター、関係各県	長期 長期 長期	県単 県単 県単
・ 牧草、飼料作物の優良品種・系統の選定 1) 牧草類・飼料作物の奨励品種選定試験 (1) とうもろこし (2) イタリアンライグラス (3) ソルガム (4) オーチャードグラス (5) ペレニアルライグラス	飼料・環境 飼料・環境 飼料・環境 飼料・環境 飼料・環境	九州沖縄農研、九州各県 九州沖縄農研、九州各県 九州沖縄農研、九州各県 九州沖縄農研、九州各県 九州沖縄農研、九州各県	長期 長期 長期 長期 長期	県単 県単 県単 県単 県単
・ 高品質豚生産のための種豚改良 L・W・Dの系統維持・増殖 1) 原種豚の改良維持及び増殖 (1) ランドレース種の系統維持及び増殖 (2) 大ヨークシャー種の改良増殖 (3) デュロック種の能力維持	豚・鶏 豚・鶏 豚・鶏		長期 長期 長期	県単 県単 県単
・ 原種禽の系統維持及び増殖 1) 原種禽の系統維持及び増殖 (1) 「豊のしゃも」原種鶏 (2) 「おおいた冠地どり」原種鶏 (3) 「おおいた烏骨鶏」原種鶏	豚・鶏 豚・鶏 豚・鶏	熊本農研、宮崎畜試	長期 長期 長期	県単 県単 県単

3. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
2022 大分県黒毛和種種雄牛	R4. 6. 1	34	1,000

畜産研究部監修

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

該当なし

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R4. 10. 19 ～10. 20	第 85 回九州農業研究発表会	後藤雅昭	LED 光線管理による効率的豚人工授精法の確立
R4. 11. 2	令和 4 年度大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会及び研修会	園川竜征	ゲノム育種値を活用した種雄牛造成とその成果
R4. 11. 2	令和 4 年度大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会及び研修会	波津久航	黒毛和種長期不受胎牛における繁殖性改善の試み
R4. 11. 2	令和 4 年度大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会及び研修会	児玉千尋	酪農経営向上のためのと畜由来卵子を用いたウシ体外受精卵供給事業
R3. 11. 2	令和 4 年度大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会及び研修会	後藤雅昭	LED 光線管理による効率的豚人工授精法の確立

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和 4 年度 大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会	R4. 11. 2	正庁ホール	4	50

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

ア 講習会、研修会等

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R4. 5. 30	令和 4 年度大分畜産 Net “鼓動” スキルアップ研修会	大分市内	50	大分畜産 Net “鼓動”
R4. 7. 1	大分県養豚協会研修会(情報提供)	大分市内	50	大分県養豚協会
R4. 9. 14	令和 4 年度大分県家畜商講習会	大分市内	10	大分県農林水産部
R4. 8. 1	課題解決研修	日出町内	20	大分県地域農業振興課
R4. 8. 30	第 12 回全共出品にかかる集合管理指導会	玖珠町内、由布市内	20	全共地区指導班
R4. 10. 27	豊のしゃも出前授業	大分市内	30	豊のしゃも推進協議会

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R4. 11. 10	三重東小学校5年生「職業講話」	豊後大野市内	20	豊後大野市立三重東小学校
R4. 12. 6	令和4年度豊後牛生産女性組織連絡協議会	大分市内	30	豊後牛生産女性組織連絡協議会
R4. 12. 7	大分県養豚協会研修会(話題提供)	大分市内	50	大分県養豚協会
R5. 2. 22	令和4年度豊後大野市家畜人工授精協会研修会	豊後大野市内	15	豊後大野市家畜人工授精協会
R5. 3. 3	削蹄研修	畜産研究部	8	公益社団法人大分県畜産協会

イ 畜産共進会

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R4. 7. 15	竹田市畜産共進会直入地域予選会	竹田市内	-	竹田市畜産振興協議会
R4. 7. 22	竹田市畜産共進会久住地域予選会	竹田市内	-	竹田市畜産振興協議会
R4. 7. 26	竹田市畜産共進会竹田地域予選会	竹田市内	-	竹田市畜産振興協議会
R4. 8. 30	第15回豊後大野市畜産共進会	豊後大野市内	-	豊後大野市畜産振興協議会
R4. 8. 31	竹田市畜産共進会	竹田市内	-	竹田市畜産振興協議会
R4. 8. 31	第56回東部地域畜産共進会	杵築市内	-	東部地域畜産振興会
R4. 9. 8	第56回日田畜産品評会	玖珠町内	-	日田地域畜産振興会
R4. 9. 9	第18回佐伯市畜産共進会	佐伯市内	-	佐伯市畜産振興会
R4. 9. 9	第117回玖珠郡畜産品評会	玖珠町内	-	玖珠群地域畜産振興会
R4. 9. 15	第55回大分地方畜産共進会	由布市内	-	中央地域畜産振興会
R4. 9. 30 ~10. 1	第83回大分県畜産共進会肉牛の部	豊後大野市内	-	第83回大分県畜産共進会
R4. 10. 6 ~10. 10	第12回全国和牛能力共進会	鹿児島県内	-	第12回全国和牛能力共進会
R4. 10. 25	第83回大分県畜産共進会肉用牛の部	玖珠町内	-	第83回大分県畜産共進会

ウ 精液譲渡

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R4. 4. 4	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R4. 4. 7	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	30	
R4. 4. 13	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	
R4. 4. 18	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	30	
R4. 4. 22	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	30	
R4. 4. 25	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R4. 5. 9	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R4. 5. 6	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R4. 5. 13	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R4. 5. 16	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R4. 5. 18	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	30	
R4. 6. 2	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R4. 6. 3	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	30	
R4. 6. 7	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	30	
R4. 6. 14	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	
R4. 6. 15	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R4. 6. 27	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R4. 7. 5	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R4. 7. 11	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	30	
R4. 7. 13	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R4. 7. 15	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R4. 7. 15	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	
R4. 7. 19	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	30	
R4. 8. 3	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	20	
R4. 8. 9	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	20	
R4. 8. 12	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	
R4. 8. 24	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	30	
R4. 8. 26	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R4. 9. 6	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R4. 9. 14	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R4. 9. 14	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	30	
R4. 9. 15	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R4. 9. 15	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	
R4. 9. 16	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	30	
R4. 10. 4	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R4. 10. 4	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	30	
R4. 10. 7	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	30	
R4. 10. 13	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	
R4. 10. 21	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	30	
R4. 10. 27	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R4. 11. 7	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R4. 11. 14	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R4. 11. 14	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	20	
R4. 11. 15	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R4. 11. 17	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	30	
R4. 12. 5	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R4. 12. 5	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	20	
R4. 12. 7	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	20	
R4. 12. 14	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	
R4. 12. 22	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	20	
R4. 12. 26	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R5. 1. 10	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R5. 1. 16	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R5. 1. 17	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	
R5. 1. 17	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R5. 1. 18	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	30	
R5. 2. 3	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R5. 2. 7	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	30	
R5. 2. 13	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	
R5. 2. 17	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	30	
R5. 2. 22	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R5. 3. 6	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R5. 3. 14	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R5. 3. 15	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R5. 3. 17	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	30	

（２）受入研修

① 長期研修受け入れ

対象者	所属	研修内容	期間
研修生 3 名	県内	大分県立農業大学校 就農準備研修（畜産コース）	R4. 4. 8～R5. 3. 7
受講者 32 名	県内	家畜人工授精（牛）講習会	R4. 10. 31～R4. 12. 6

② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者	2	30	※2/8 東部、3/22 竹田
団体等職員	1	1	
普及指導員	2	2	
学生	3	4	※大学
児童・生徒	3	9	※中高校
海外からの視察者	0	0	
その他	0	0	
計	11	45	

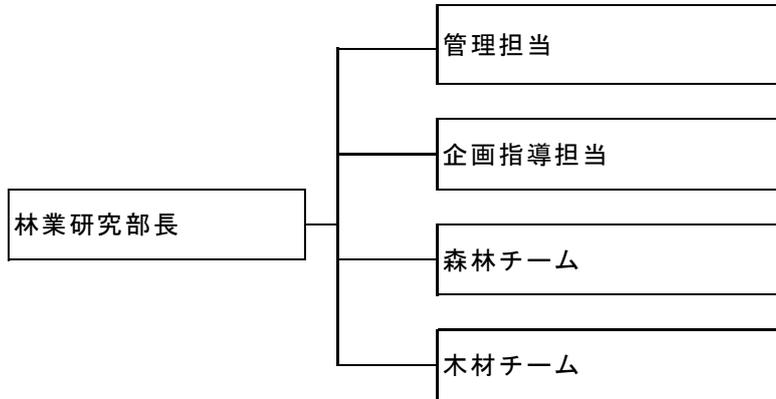
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

該当なし

II-6 林業研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和4年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務 技師	農業 技術員	事務 補佐	計	備考
		事務	技術						
部 管	長 当		1					1	
企 画	担 当	2						2	
森 林	チ ーム		5			1		6	
木 材	チ ーム		6					6	(兼)産業科学技術センター 製品開発支援担当主幹研究 員1名
計		2	14	0	0	1	0	17	

(3) 業務

- ① 育種・育林の技術開発に関する試験研究
- ② 環境を守る森林整備に関する試験研究
- ③ 県産材の需要拡大に関する試験研究

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
1) 大課題 I 中課題 ・研究項目				
※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)				
1) 研究分野：I 実用化研究（基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの）				
II マーケットインの商品（もの）づくりを加速するための技術開発（高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種）				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 造林樹種における優良品種の選抜 1) スギ・ヒノキサシ木苗の生産性向上に関する研究 2) 大分県に適した早生樹の苗木生産・育林技術の開発 3) エリートツリー等の原種増産技術の開発事業のための調査等委託業務 4) 低コスト造林施策推進に向けたスギ優良品種の材質特性の解明 	森林	-	R3~5	県単
	森林	-	R3~5	県単
	森林	(国研)森林研究・整備機構、他	R4	受託
	木材	-	R3~5	県単
<ul style="list-style-type: none"> ・ 低コスト育林技術の開発・実証 1) 疎植造林による育林施策体系の開発 2) 成長に優れた苗木を活用した施策モデルの開発 	森林	-	R2~6	県単
	森林	(国研)森林研究・整備機構、他	H30~R4	受託
<ul style="list-style-type: none"> ・ スギ大径材の効率的な製材・乾燥技術の開発 1) 大径材の多様な利活用に向けた乾燥技術の開発 2) スギ心去り構造用製材等の品質に関する研究 3) 長大スパンに対応する接着重ね材の開発 -大径材等の新たな用途拡大- 	木材	-	R3~5	県単
	木材	-	R4~7	県単
	木材	-	R2~4	県単
2) 研究分野：II 基礎調査研究（長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの）				
<ul style="list-style-type: none"> ・ スギ雄花着生状況調査(花粉飛散量予測と雄花生産量の把握) 1) スギ花粉発生源地域推定事業 	森林	-	R4	受託 [全林協]

3. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
令和3年度林業研究部年報(第64号)	R4. 8. 8	68	200
林研だより(第84号)	R5. 3. 30	9	HP掲載

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
蔵原正秀	大分県	各都道府県の林業・林産業と遺伝育種の関わり(森林遺伝育種学会)	2022. 4. 25	102-105
山本幸雄	高温乾燥された針葉樹構造用製材の平衡含水率と強度性能の関係	木材工業	2022年5月号(第77巻第5号通巻902号)	178-184
古曳博也	大分県農林水産研究指導センター林業研究部への聞き取り調査	令和4年度大径材製品等おおい材販路確立事業実施報告書	令和5年1月	4-6
山本幸雄	「品質・性能を確保した乾燥材の供給に向けた技術資料の作成および普及」報告書(令和3年度木材製品の消費拡大対策のうちCLT建築実証支援事業のうちCLT等木質建築部材技術開発・普及事業)	一般社団法人全国木材組合連合会	令和5年2月	

執筆者	論文名	掲載誌名	巻（号）	掲載頁
山本幸雄	品質の確かな人工乾燥材の生産にむけて	一般社団法人 全国木材組合連合会	令和 5年 2月	
山本幸雄	「構造用製材の含水率の変化が強度に及ぼす影響の検証」報告書 (令和4年度建築用木材供給・利用強化対策のうちCLT・LVL等の建築物への利用環境整備事業のうちCLT・LVL等を活用した建築物の低コスト化・検証等事業)	一般社団法人全国木材組合連合会	令和 5年 3月	
古曳博也	スギ大径材の有効利用技術の開発	公立林業試験研究機関 研究成果集	No. 20(2023. 3)	53-54
松本純	中津ミステリーサークルにみる植栽密度によるスギの成長、枯れ上がりの状況	林野庁 革新的造林モデル事例集	2023 (令和5)年 3月	14-19
松本純	疎植造林検証モデル林での在来品種・精英樹・エリートツリー（4年生）の初期成長比較	林野庁 革新的造林モデル事例集	2023 (令和5)年 3月	26-30

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R4. 10. 14 ～10. 21	第78回九州森林学会大会	松本純	システム収穫表を活用した樹冠状況の推定について
R4. 10. 14 ～10. 21	第78回九州森林学会大会	加藤小梅 安部暖美	スギ特定母樹コンテナ苗の発根速度における品種間差
R4. 11. 24	戦略プロジェクト（研究推進事業成長に優れた苗木を活用した施業モデルの開発）推進会議	松本純	円形密度試験地から見た林冠閉鎖のタイミング
R5. 3. 25 ～3. 27	第134回日本森林学会大会	松本純	低密度植栽にて生産した木材の節の状況
R5. 3. 25 ～3. 27	第134回日本森林学会大会	河津温子 高宮立身 松本純	九州での広域多点調査から見えた植栽後10年間のスギ人工林の変化

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和4年度 農林水産研究指導センター 林業研究部 研究発表会	R5. 1. 31	林業研究部	3	49

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R4. 5. 24	大分県立農業大学校講義	大分県立農業大学校	53	大分県立農業大学校
R4. 6. 10	林業普及技術等習得研修(林業一般)	大分県庁舎	12	大分県
R4. 6. 28	大径材有効活用について	日田郡森林組合	14	日田郡森林組合
R4. 8. 27	企業技術研修「椅子張りの基礎技術Ⅱ」	林業研究部	24	林業研究部 協同組合日田家具工業会
R4. 8. 29	大分県立農業大学校講義	大分県立農業大学校	53	大分県立農業大学校
R4. 9. 9	林業種苗生産事業者講習会	大分県林業会館新館	27	大分県
R4. 10. 19	日田林工高等学校インターンシップ	林業研究部	1	大分県立日田林工高等学校
R4. 10. 24	フォレストワーカー(3年目)集合研修「木材の特性」	大分県林業研修所	15	(公財)森林ネットおおいた
R4. 10. 26	苗木生産初心者研修	大分県林業研修所	7	(公財)森林ネットおおいた
R4. 11. 1 R4. 11. 2	試験研究機関における実践研修 林業全般基礎Ⅱ(後期)	[1日目]日田市内山林、木材加工場等 [2日目]林業研究部	9	大分県
R4. 11. 4	苗木研修会	林業研究部	28	大分県樹苗生産農業協同組合
R4. 11. 9	家具強度試験について	ベストリビング株式会社	13	大分県立芸術文化短期大学 協同組合日田家具工業会 大分県産業科学技術センター
R4. 12. 4	林業研究特別講演会「スギ材の多機能性(人の心理生理応答・抗ウイルス効果)と需要拡大に向けて」	日田市民文化会館 パトリア日田	182	林業研究部
R4. 12. 9	特定母樹の特性と品種等について	大分センチュリーホテル	26	大分県樹苗生産農業協同組合
R4. 12. 26	大分県立農業大学校講義	大分県立農業大学校	53	大分県立農業大学校
R5. 2. 27	スギ大径材利用に関する研修会	大分県庁舎	38	大分県
R5. 3. 24	林業全般高度化研修	大分県庁舎	15	大分県

(2) 受入研修

① 長期研修受け入れ

該当なし

② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	25	54
団体等職員	96	263
普及指導員	5	62
学生	3	67
児童・生徒	1	49
その他	55	302
計	185	797

※大学

※小中高校

③ 企業支援

区分	件数	金額(円)
依頼試験	9	908,729
機械貸付	180	136,240
技術相談	144	-
企業訪問	53	-
計	386	1,044,969

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

該当なし

Ⅱ－7 きのごグループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和4年4月1日現在

組織	職種	職員					計	備考
		事務	技術	技師	労務技師	業務技師		
グループ長			1				1	
企画指導担当			3				3	広域普及指導員2名
きのこチーム			4		1		5	
計		0	8	0	0	1	0	9

(3) 業務

- ①原木シイタケ栽培技術の改善・開発
- ②菌床栽培技術の改善・開発
- ③シイタケの機能性に関する研究
- ④きのこ類の品種改良・開発
- ⑤有用きのこ類の遺伝子収集及び保存
- ⑥研究成果の普及及び栽培技術指導
- ⑦病害虫等の防除技術の普及
- ⑧新規参入者の研修・技術指導
- ⑨栽培技術情報の収集・管理と情報発信

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
1) 大課題 I 中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)				
1) 研究分野：I 実用化研究（基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの）				
II マーケットインの商品（もの）づくりを加速するための技術開発				
・きのこ類のブランド化に向けた品種開発 1) 大分県の気象条件に適合した乾シイタケ品種の育成	きのこ		R1~4	県単
・しいたけの食味や機能性等の食品としての特性評価 1) 乾シイタケ機能性成分の検証と商品開発	きのこ		R4~6	県単
III 力強い担い手を育成するための技術開発（省力化、大規模化）				
・しいたけの生産力強化に向けた技術開発 1) 乾シイタケ原木栽培の早期ほだ化技術の開発	きのこ		R2~4	県単
2) 発生量増大を目指したほだ木育成管理技術の開発	きのこ		R3~5	県単
3) 伏込量増大のための原木伐採・玉切り時期の研究（I）	きのこ		R4~6	県単
IV 地域資源等の活用と環境対策等の技術開発（地域資源、省エネ・環境対策）				
・クヌギチップや食品加工副産物等を利用したきのこ類栽培技術の確立 1) 廃菌床等を利用した低コストシイタケ栽培技術の検討	きのこ		R3~5	
2) 研究分野：II 基礎調査研究（長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの）				
・野生きのこ類の遺伝子収集と保存	きのこ		H1~	県単

3. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
林業研究部きのこグループ業務年報（第33号）	R5.2	39	HP掲載
情報誌「くらんぶ」第53号	R4.9	7	1,500

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻（号）	掲載頁
生野 稯大	原木シイタケ栽培の打木操作技術	現代林業	2022年10月号	42-46

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R4.10.14	第78回九州森林学会大会	宮本亮平	栽培中における青色LEDの強度の違いが菌床シイタケ栽培の発生に及ぼす影響

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和4年度きのこグループ研究発表会	R4.12.14	きのこグループ	研究発表2 特別講演1	62

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

ア. 林業普及指導員研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R4. 6. 14	試験研究機関における実践研修(1回)	きのこグループ、大分市	4	林務管理課
R4. 7. 1	試験研究機関における実践研修(2回)	きのこグループ	4	林務管理課
R4. 7. 27	試験研究機関における実践研修(3回)	きのこグループ	2	林務管理課
R4. 8. 25	試験研究機関における実践研修(4回)	きのこグループ	3	林務管理課
R4. 8. 26	試験研究機関における実践研修(5回)	きのこグループ	3	林務管理課
R4. 11. 22	試験研究機関における実践研修(6回)	佐伯市	5	林務管理課
R4. 12. 21	試験研究機関における実践研修(7回)	きのこグループ	2	林務管理課

イ. 林業普及技術習得研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R4. 6. 9	林業基礎技術習得研修	大分市	11	林務管理課
R4. 10. 6	林業全般基礎(I)後期研修	きのこグループ	9	林務管理課
R4. 10. 13	林業全般基礎(II)後期研修	きのこグループ	9	林務管理課

ウ. 大分しいたけ源兵衛塾(第12期)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R4. 7. 15	大分しいたけ源兵衛塾第1回研修会	きのこグループ	28	大分県椎茸振興協議会
R4. 9. 30	大分しいたけ源兵衛塾第2回研修会	宇佐市	16	大分県椎茸振興協議会
R4. 12. 14	大分しいたけ源兵衛塾第3回研修会	佐伯市 きのこグループ	38	大分県椎茸振興協議会
R5. 1. 27	大分しいたけ源兵衛塾第4回研修会	豊後大野市	19	大分県椎茸振興協議会

エ. 新規参入者研修(栽培体験コースを含む)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R4. 4. 22	第1回大分西部原木しいた栽培基礎研修会	日田市	7	西部振興局
R4. 9. 4	原木しいたけ栽培新規参入者研修(第1回)	きのこグループ	32	林産振興室
R4. 9. 16	原木しいたけ栽培新規参入者ステップアップ研修(第1回)	別府市	31	東部・北部地区森林・林業活性化協議会
R4. 10. 2	原木しいたけ栽培新規参入者研修(第2回)	きのこグループ 豊後大野市	25	大分県椎茸振興協議会
R4. 12. 7	原木しいたけ栽培新規参入者ステップアップ研修(第2回)	杵築市 宇佐市	14	北部・東部地区森林・林業活性化協議会
R5. 1. 31	しいたけ版ファーマーズスクール合同研修会	日出町・国東市	5	大分県椎茸振興協議会

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5. 2. 5	原木しいたけ栽培新規参入者研修（第3回）	きのこグループ	21	林産振興室
R5. 2. 22	第2回大分西部原木しいたけ栽培基礎研修会	日田市	10	西部振興局
R5. 3. 12	原木しいたけ栽培新規参入者研修（第4回）	きのこグループ	19	林産振興室

オ. きのこ生産研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R4. 4. 15	おのぼり会選別研修会	竹田市	14	おのぼり会
R4. 4. 19	令和4年度宇佐市椎茸栽培推進協議会総会	宇佐市	21	宇佐市椎茸栽培推進協議会
R4. 5. 12	国見町椎茸生産者組合連合会総会	国東市	26	国見町椎茸生産者組合連合会
R4. 6. 17	令和4年度第1回豊肥地区しいたけ原木利用促進検討会	竹田市	18	豊肥地区林業振興部会
R4. 7. 12	第1回しいたけ原基塾	豊後大野市 竹田市	20	豊肥振興局
R4. 7. 14	生しいたけ生産流通懇談会意見交換会	大分市	18	生しいたけ生産流通懇談会 林産振興室
R4. 9. 15	喜椎会研修会	宇佐市	12	喜椎会
R4. 9. 16	県南地区椎茸生産者小組合連合会 秋季研修会	きのこグループ	37	県南地区椎茸生産者小組合 連合会
R4. 10. 4	大分県原木椎茸出荷推進事業部会 研修会	大分市	28	大分県原木椎茸出荷推進事 業部
R4. 10. 20	第2回しいたけ原基塾	竹田市	20	豊肥振興局
R4. 12. 8	佐賀県原木しいたけ栽培研究会研修 会	きのこグループ	21	佐賀県原木しいたけ栽培研 究会
R4. 12. 8	おのぼり会研修会	竹田市	16	おのぼり会
R5. 1. 27	JAふくおか八女椎茸部会研修会	きのこグループ	14	JAふくおか八女椎茸部会
R5. 2. 10	王将椎茸株式会社原木椎茸栽培研修 会	臼杵市	12	森産業大分営業所
R5. 2. 24	大分県椎茸農業協同組合竹田地区女 性部総会	竹田市	27	大分県椎茸農業協同組合竹 田地区女性部

カ. 人材育成研修等

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R4. 6. 6	企業参入相談	きのこグループ	3	林産振興室
R4. 7. 7	林業普及活動情報交換会	大分市	30	林務管理課
R4. 7. 28	農林水産部現場体験研修	きのこグループ	10	農林水産部
R4. 9. 7	農業大学校講義	きのこグループ	10	県立農業大学校
R4. 12. 12	第4回森林・林業教育指導者育成研修 会	きのこグループ	22	森づくり人材育成協議会

キ．関係団体総会・会議

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R4. 6. 24	椎茸原木供給推進会議	日出町	7	東部地区森林・林業活性化協議会
R4. 9. 12	椎茸技術者会議	きのこグループ	15	きのこグループ

ク．品評会関係

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R4. 4. 18	第16回宇佐市乾椎茸品評会審査会	宇佐市	9	宇佐市椎茸栽培推進協議会
R4. 4. 19	第14回竹田市乾椎茸品評会審査会	竹田市	17	竹田市椎茸生産振興会
R4. 4. 20	令和4年度(第15回)豊後高田市乾椎茸品評会審査会	豊後高田市	8	豊後高田市椎茸生産組合
R4. 4. 26	第11回豊後大野市乾椎茸品評会審査会	豊後大野市	17	豊後大野市椎茸振興会
R4. 4. 26	第2回国東市乾しいたけ品評会審査会	国東市	7	国東市しいたけ振興会
R4. 4. 27	第18回佐伯市乾椎茸品評会審査会	豊後大野市	9	佐伯市椎茸生産組合連絡協議会
R4. 4. 27	第52回大分市乾椎茸品評会審査会	大分市	11	大分市椎茸生産組合
R4. 4. 28	第7回臼杵市乾椎茸品評会審査会	臼杵市	18	臼杵市椎茸振興協議会
R4. 5. 6	大分県乾椎茸品評会箱物の部審査会	大分市	15	大分県椎茸農業協同組合
R4. 5. 24	大分県乾椎茸品評会袋物の部審査会	大分市	25	大分県椎茸農業協同組合
R4. 11. 29	第34回大分県生しいたけ品評会審査会	大分市	26	大分県椎茸振興協議会

ケ．一般消費者関係

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R4. 6. 21	第1回しいたけ教室（新田小学校）	きのこグループ	14	豊後大野市椎茸振興会 豊肥地区林業振興部会

(2) 受入研修

① 長期研修者受け入れ

対象者	所属	研修内容	期間
研修生1名	県内	大分県立農業大学校農学部 総合農産課果樹コース	R4. 6. 10～R5. 1. 3

② 生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	28	569
団体等職員		
普及指導員	10	52
学生	1	10
児童・生徒	1	14
海外からの視察者		
その他	3	35
計	43	680

※大学

※小中高校

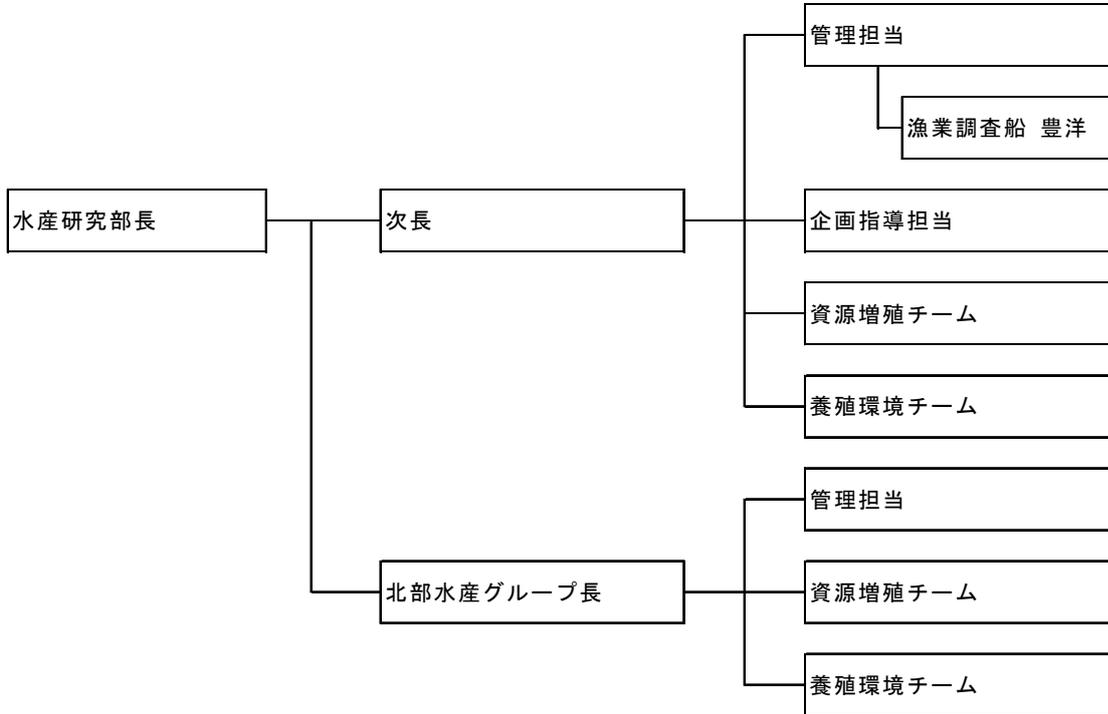
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
乾シイタケ原木栽培の単収向上技術の普及	単収向上に向けた2夏目の高温障害を防ぎ、ほだ化を促進させる1年起こし（平地化）技術の普及定着。	平地伏込みに関する研修や研究成果情報誌の配布、優良事例をまとめた作業指針の周知などにより、新たな取組生産者15名を確保した。

II－8 水産研究部（北部水産グループ含む）

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和4年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
水産研究部	上浦	部長	1					1	海事職員7名
		次長	1	1				2	
		管理担当	2	7				9	
		企画指導担当		2				2	
		資源増殖チーム		7				7	
	養殖環境チーム		8				8		
	北部水産グループ	グループ長		1				1	
		管理担当	1					1	
		資源増殖チーム		5				5	
		養殖環境チーム		6				6	
計		4	37	0	0	0	0	41	

(3) 業務

- ① 漁業の調査研究に関すること
- ② 漁業の生産および技術指導に関すること
- ③ 水産動植物の増養殖に関すること
- ④ 漁業技術の改良普及に関すること
- ⑤ 水産動物の防疫等指導に関すること
- ⑥ 水産物の利用加工等指導に関すること
- ⑦ 内水面の増養殖技術の普及指導に関すること
- ⑧ 漁場環境保全・赤潮等の被害防止技術に関すること
- ⑨ その他水産業の技術指導に関すること

2. 試験研究課題(1/4)

水産研究部所管分(1/2)

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
1) 大課題 I 中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分: 1)、(1)				
1) 研究分野: I 実用化研究(基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの)				
II マーケットインの商品(もの)づくりを加速するための技術開発(高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種)				
・ 養殖生産物の品質改善 1) 新たな養殖技術開発～高品質で低コストな養殖魚生産を目指して～	養殖環境	高知大学 別府大学 大分大学	R3~5	県単
2) エトキシキン規制対策	養殖環境	全国海水 養魚協会 (国研)水 産研究・ 教育機構	R4	委託
・ ブリ類養殖業生産体制強化促進事業	資源増殖		R3~5	県単
1) 人工種苗による出荷端境期のブリ安定出荷体制の確立	資源増殖		R3~5	県単
2) 県内ブリ類養殖漁場ごとの出荷適正期間調査	養殖環境		R3~5	県単
3) 適正サイズに満たない天然モジャコの育成・種苗化技術の開発	養殖環境		R4~5	県単
4) モジャコ不漁時に対応できる人工種苗供給体制の確立	資源増殖		R4~5	県単
・ ヒラメ耐病性家系の育種	資源増殖		R3~5	県単
・ 養殖魚の抗病性強化法・新規ワクチン開発 1) 魚類疾病に対するワクチン等の効果を高める技術の開発 2) 安心・安全で環境に優しい養殖推進事業(クドア) 3) 資源造成型栽培漁業推進事業(種苗検査) 4) ブリ稚魚を対象としたイリドウイルス感染実験系の検討	養殖環境 養殖環境 養殖環境 養殖環境	九州大学 愛媛大学	R2~4 R2~ R2~ R4	県単 県単 県単 県単
・ 養殖魚の寄生虫防除法開発 1) 魚類疾病に対するワクチン等の効果を高める技術の開発(はだむし対策)	養殖環境	海洋大	H19~	県単
III 力強い担い手を育成するための技術開発(省力化、大規模化)				
・ 資源に関する基礎調査(モニタリング調査) 1) 資源評価関係調査	資源増殖	(国研)水 産研究・ 教育機構	H12~	諸経費 委託
2) 自主的資源管理体制高度化事業(クルマエビ)	資源増殖	(国研)水 産研究・ 教育機構	R3~4	諸経費 委託
・ 豊予海峡周辺海域におけるマアジ・マサバの資源生態に関する研究	資源増殖		H29~	県単・ 諸経費 委託
・ タチウオ資源回復推進に関する研究	資源増殖	(国研)水 産研究・ 教育機構	H26~	県単
IV 地域資源等の活用と環境対策等の技術開発(地域資源、省エネ・環境対策)				
・ 磯焼け対策に関する技術開発(モニタリング調査)	資源増殖	(国研)水 産研究・ 教育機構	H16~	県単
・ ブルーカーボンの評価手法及び効率的藻場形成・拡大技術の開発	資源増殖	(国研)水 産研究・ 教育機構	R4~	諸経費 委託
・ 赤潮・貝毒被害防止技術の開発 1) 漁場環境改善推進事業のうち赤潮被害防止対策技術の開発 (1) 赤潮防除・被害軽減手法の開発	養殖環境	(国研)水 産研究・ 教育機構	H30~R4	諸経費 委託
2) IoT等の新技術を活用した有害・有毒プランクトン対策	養殖環境		R3~5	県単
3) 漁場環境保全推進事業(赤潮・貝毒発生監視)	養殖環境		長期	県単
4) 海洋保全型養殖推進事業費	養殖環境		R4~6	県単

2. 試験研究課題（2/4）
水産研究部所管分（2/2）

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
1) 大課題 I 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）				
2) 研究分野：II 基礎調査研究（長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの）				
・ 漁場環境改善推進事業のうち赤潮被害防止対策技術の開発 1) 有害赤潮プランクトンの出現動態監視および予察技術開発（赤潮モニタリング）	養殖環境	(国研)水産研究・教育機構	H30～R4	諸経費委託
・ 水産加工品等高度利用化指導（指導事業）	養殖環境		S61～	県単
・ 基盤整備・栽培漁業・資源回復の推進に関する基礎調査	資源増殖		H26～	県単
・ 資源環境に関するデータの収集、情報の提供（情報提供事業）	資源増殖	(国研)水産研究・教育機構	長期	県単委託
・ 天然アユ等のモニタリング 1) 漁場環境・水生生物に関するモニタリング調査(アユ等)	資源増殖		R2～	県単
・ 養殖衛生管理指導事業（海面防疫対策）（指導事業）	養殖環境		H12～	国庫補助
・ 養殖漁場の適正利用推進調査（モニタリング事業） 1) 養殖漁場の適正利用推進調査（モニタリング事業）	養殖環境		H12～	県単

2. 試験研究課題 (3/4)

水産研究部 北部水産グループ所管分 (1/2)

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
1) 大課題 I 中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)				
1) 研究分野：I 実用化研究(基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの)				
I 構造改革の更なる加速のための技術開発(イノベーション・流通対策)				
・ 海藻の新たな養殖技術開発 1) ヒジキ完全養殖技術の開発	養殖環境		R3~5	県単
・ スマート農林水産業の実現 1) 電子遊漁券システムを活用した内水面漁業の資源管理の実証	養殖環境		R4~6	県単
II マーケットインの商品(もの)づくりを加速するための技術開発(高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種)				
・ ナマコ及びアサリ等二枚貝の種苗生産技術開発 1) 高級二枚貝タイラギの種苗生産・増養殖技術・母貝団地造成技術の開発	資源増殖	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H27~	県単委託
2) 養殖カキのシングルシード人工種苗生産	資源増殖		R3~5	県単
・ 新規養殖種および増養殖手法の探索 1) 高級キジハタ種苗生産技術開発	資源増殖	(国研)水産研究・教育機構、東京海洋大学、関係県 他	R2~6	県単
2) マダコ養殖の事業化に向けた飼育技術の高度化と普及	資源増殖		R3~5	委託
・ 海藻類、カキ類、エビ類の種苗生産技術および養殖技術の研修・指導 1) クロメ養殖推進事業	養殖環境	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H29~	県単
2) クルマエビの耐病性品種の育成と管理に関する技術開発	資源増殖 養殖環境		R2~4	委託
III 力強い担い手を育成するための技術開発(省力化、大規模化)				
・ 資源に関する基礎調査(モニタリング調査) 1) 資源評価関係調査	資源増殖	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H12~	委託
・ 主要河川におけるアユ資源の有効利用手法の開発	養殖環境		R1~4	県単
IV 地域資源等の活用と環境対策等の技術開発(地域資源、省エネ・環境対策)				
・ アサリ天然稚貝の利用と資源回復推進に関する研究 1) 母貝としての天然稚貝の有効活用・養殖拡大の実証	資源増殖		R3~	県単
・ 栽培対象魚種技術開発事業(マコガレイ、クルマエビ)	資源増殖		R3~	県単
・ 無給餌養殖推進事業(カキ、アサリ、タイラギ、海藻)	資源増殖 養殖環境		R3~	県単
・ 赤潮・貝毒被害防止技術の開発 1) 漁場環境改善推進事業のうち赤潮被害防止対策技術の開発	養殖環境	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H30~R4	委託
2) 漁場環境保全推進事業(赤潮・貝毒発生監視)	養殖環境		—	県単

2. 試験研究課題(4/4)

水産研究部 北部水産グループ所管分(2/2)

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
1) 大課題 I 中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分: 1)、(1)				
2) 研究分野: II 基礎調査研究(長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの)				
・ 持続的養殖生産確保推進事業(北部水域)(指導事業) 1) 魚病診断と対策指導	養殖環境		H12~	国庫補助
・ 二枚貝の資源動向の把握および回復施策の検討 1) 地域重要魚貝類の資源動向及び回復施策に関する研究	資源増殖		長期	県単
・ 有害生物漁業被害防止対策 1) ナルトビエイ出現調査 2) 外来魚・カワウ等による食害被害軽減対策指導	資源増殖 養殖環境		— 長期	委託 県単
・ 基盤整備・栽培漁業・資源回復の推進に関する基礎調査	資源増殖		—	県単
・ 自主的資源管理体制高度化事業(クルマエビ)	資源増殖	(国研)水産研究・教育機構、関係県	R3~5	委託
・ 水産資源管理推進事業(オニオコゼ、キジハタ、マダコ)	資源増殖	(国研)水産研究・教育機構、関係県	R4	委託
・ ハモ等食品加工残渣を利用した効率的な操業支援実証事業	資源増殖		R3~	県単
・ 資源環境に関するデータの収集、情報の提供(浅海定線調査、情報提供等)	資源増殖 養殖環境	(国研)水産研究・教育機構、関係県	長期	県単 委託
・ ノリ養殖指導・情報提供	養殖環境		H23~	県単
・ 天然アユ等のモニタリング 1) 漁場環境・水生生物に関するモニタリング調査	養殖環境		H21~	県単
・ 河川環境モニタリング 1) 漁場環境保全推進事業(内水面)	養殖環境		H22~	県単

3. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
おおいたアクアニュース No. 55	R4. 8. 8	17	HP掲載
おおいたアクアニュース No. 56	R5. 1. 31	13	HP掲載

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
渋谷駿太	豊後水道南部主要港における定置網漁獲物組成の変化	黒潮の資源海洋研究	第24号	3-8
徳光俊二・後藤直登	2021年における豊後水道集権海域におけるタチウオの資源解析	黒潮の資源海洋研究	第24号	129-138
山本宗一郎・三田村啓理・黒川皓平・國森拓也・堀 正和・荒川修亮	周防灘に生息するマコガレイの夏季から冬季にかけての経験水温・深度および離底行動の観測	日本水産学会誌	88(5)	355-364

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
H. Ishihara, S. Harakawa, H. Kawakami, <u>K. Yoshii</u> , N. Murase, <u>H. Yamada</u> , <u>Y. Fukuda</u> , R. Nozaki, S. Kawato, K. Koiwai, I. Hirono and H. Kondo	Whole- genome analysis of red sea bream iridovirus spread in 2021 in Japan provided epidemiological and viral traits insight	Journal of Fish Diseases	45	1593-1597
L. Wang, <u>K. Yoshii</u> , <u>N. Murase</u> , <u>H. Yamada</u> , <u>Y. Fukuda</u> , I. Hirono and H. Kondo	Type I interferon induced by polyinosinic-polycytidylic acid does not contribute to the efficacy of a formalin-killed cell vaccine against <i>Edwardsiella piscicida</i> in the Japanese flounder (<i>Paralichthys olivaceus</i>)	Fish and Shellfish Immunology	135	in press
<u>福田穰</u>	生産現場における魚病対策と防疫体制の課題	養殖ビジネス	59(10)	13-16
紫加田知幸・ <u>宮村和良</u> ・ <u>野田誠</u> 、浦啓介・松尾斉	足し網や生簀沈下による赤潮の魚類へい死軽減	養殖ビジネス	59(11)	37-41
福田穰	レンサ球菌症(ラクトコッカス感染症)(ブリ類)他16項目	新魚病図鑑 第3版(緑書房)	—	—
宮村和良	大分県沿岸域における赤潮発生状況とIoT技術利用による赤潮監視について	CAINES Journal, Journal (養殖場高度化推進研究センタージャーナル)	No. 3	22-23
高橋明義・都留久美子・ <u>中島智優</u> ・ <u>野田 誠</u> ・古川 大・鈴木将平・中村良成・清水大輔・水澤寛太	緑色光照射のカレイ・ヒラメ類養殖への貢献	バイオインダストリー	40(1)	34-43
Shigeki Dan, Yuki Yamamoto, Doppo Nishiwaki, Hiroyuki Matsunari, Yusei Kado, Daigo Yamaki, Satoshi Takeshima, Yoshinori Kamei, Satoko Hara, <u>Kazuaki Sakiyama</u> , Noboru Isojima, Atsushi Narita, Katsuyuki Hamasaki	Dietary effects of intensively reared swimming crab <i>Portunus trituberculatus</i> zoeae on survival and growth of East Asian common <i>Octopus sinensis</i> paralarvae	Aquaculture	in press	

※下線は当センター該当職員

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R4. 6. 17	第37回日本環境感染学会学術集会	福田穰	海産魚類養殖における抗菌剤使用の現状
R4. 7. 7	瀬戸内海ブロック水産試験場長会	林亨次	大分県杵築市守江湾におけるアサリ母貝団地の造成
R4. 7. 7	瀬戸内海ブロック水産試験場長会	宮村和良	IoT技術を用いた赤潮監視結果と今後の展望
R4. 9. 1	2022年度瀬戸内海水産環境研究集会	渋谷駿太	豊後水道南部主要港における定置網漁獲物組成の変化
R4. 9. 4	令和4年度日本魚病学会秋季大会	山本剛・白樫正・杉原志貴・ <u>山田英俊</u>	薬剤および添加物等の経口投与による <i>Enteromyxum leei</i> 防除効果の検討
R4. 9. 28	令和4年度中央ブロック資源海洋調査研究会	渋谷駿太	豊後水道南部主要港における定置網漁獲物組成の変化
R4. 9. 29	令和4年度中央ブロック資源海洋調査研究会	<u>徳光俊二</u> ・後藤直登	2021年豊後水道周辺海域におけるタチウオの資源解析
R4. 10. 12	第15回 CAINES セミナー	宮村和良	大分県の赤潮対策について
R4. 10. 21	令和4年度九州・山口ブロック水産試験場長会「漁場環境分科会」	野田誠	IoT機器を用いた赤潮発生監視の実例
R4. 11. 16	第42回九州・山口ブロック魚病分科会	吉井啓亮	大分県で分離されたⅢ型レンサ球菌のブリに対する病原性の検討
R4. 11. 30	令和4年度魚病症例研究会	吉井啓亮・室谷冬香・山田英俊・福田穰	大分県で分離されたⅢ型レンサ球菌のブリに対する病原性の検討
R5. 1. 17	第16回 CAINES セミナー	宮村和良	海洋環境保全型ブリ養殖の振興「地方水試による新たな赤潮対策への挑戦」
R5. 2. 1	令和4年度九州・山口ブロック水産試験場長会「アサリ分科会」	内海訓弘	大分県におけるアサリ調査の近況
R5. 2. 7	令和4年度九州・山口ブロック水産試験場長会「利用加工分科会」	原朋之	養殖ブリの未利用部位を用いた加工品開発
R5. 2. 17	アユの疾病研究部会	朝井隆元	アユ種苗の淡水馴致時のへい死事例
R5. 3. 14	令和5年度日本魚病学会春季大会	吉井啓亮・室谷冬香・山田英俊・福田穰	大分県で分離された <i>Lactococcus garvieae</i> 血清型Ⅲのブリに対する病原性
R5. 3. 15	令和5年度日本魚病学会春季大会	三上剛・ <u>中島智優</u> ・室谷冬香・原朋之・吉井啓亮・山田英俊・福田穰・小祝敬一郎・廣野育生・近藤秀裕	ブリ類レンサ球菌症ワクチンに含まれる抗原候補分子の探索
R5. 3. 15	令和5年度日本魚病学会春季大会	林慧人・吉井啓亮・室谷冬香・山田英俊・福田穰・近藤秀裕・佐野元彦・加藤豪司	Viable but non-culturable 状態へ移行した <i>Nocardia seriolae</i> のブリに対する病原性

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R5. 3. 29	令和5年度日本水産学会春季大会	吉澤聡一郎・石田湧輝・ <u>中島智優</u> ・ <u>室谷冬香</u> ・ <u>原 朋之</u> ・ <u>吉井啓亮</u> ・ <u>山田英俊</u> ・ <u>福田 穰</u> ・小祝敬一郎・廣野育生・近藤秀裕	ブリの自然免疫応答がハダムシの寄生数に及ぼす影響
R5. 3. 30	令和5年度日本水産学会春季大会	<u>伊藤龍星</u> ・ <u>原朋之</u> ・ <u>白樫真</u> ・平澤敬一・平川千修	中津市沿岸における希少生物ヒガシナメクジウオの生態

※下線は当センター該当職員

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和4年度大分県水産関係研究者連絡協議会研究発表会	R5. 1. 26	J:COM ホルトホール大分 302・303 会議室	14	66

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R4. 4. 22	令和4年度ヒラメ養殖関連事業説明会(クドア食中毒防止対策・IoT等の新技術を活用した有害・有毒プランクトン対策)	大分県漁協下入津支店	26	水産振興課
R4. 4. 26	令和4年度ヒラメ養殖関連事業説明会(クドア食中毒防止対策)	大分県漁協佐伯支店	21	水産振興課
R4. 5. 18	注射ワクチン接種技術講習会	日本水産株式会社大分海洋研究センター	10	
R4. 5. 18	オープンラボ(すり身研修)	水産研究部	1	
R4. 5. 20	注射ワクチン接種技術講習会	水産研究部	4	
R4. 5. 25	注射ワクチン接種技術講習会	水産研究部	19	
R4. 6. 14	令和4年度魚病及び赤潮担当者会議	水産研究部	14	
R4. 6. 23	令和4年度赤潮研修会	大分県臼杵土木事務所	17	中部振興局
R4. 6. 23	大分県漁業学校(漁場環境調査・赤潮診断技術)	水産研究部	1	大分県漁業協同組合 水産振興課
R4. 7. 2	体験型子ども科学館オーラボ 科学体験講座(海の植物 海藻について知ろう、学ぼう)	大分市	60	大分県教育委員会

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
R4. 7. 7	大分県水産養殖協議会 令和4年度魚類養殖講習会	大分県漁協佐伯支店	56	大分県水産養殖協議会
R4. 7. 9	地元産業魅力説明会	大分県立佐伯鶴城高等学校	30	大分県立佐伯鶴城高等学校
R4. 7. 14	豊後水道北部海区漁業運営委員長 ・3市水産主務課長連絡会議	大分県漁協臼杵支店	23	
R4. 7. 19	豊後水道南部海区漁業運営委員長 ・市水産主務課長連絡会議	大分県漁協佐伯支店	22	
R4. 7. 28	大分県水産養殖協議会 トラフグ養殖部会全体会議	大分県漁協下入津支店	18	大分県水産養殖協議会
R4. 7. 28	大分県漁業学校(水産資源調査)	北部水産グループ	3	大分県漁業協同組合 水産振興課
R4. 8. 3	別府湾水産振興協議会総会	大分県漁協別府支店	18	別府湾水産振興協議会
R4. 8. 7	おさかな教室	臼杵市役所 大会議室	17	うすき海のほんまもん漁業 推進協議会
R4. 8. 10	令和4年度チームリーダー研修	水産会館	29	農林水産研究指導センター
R4. 8. 25	大分県漁業学校(種苗生産)	水産研究部	1	大分県漁業協同組合 水産振興課
R4. 8. 25	第22期大分海区漁業調整委員研 修会	大分県水産会館	15	大分海区漁業調整委員会
R4. 8. 30	大分県漁業学校(漁場環境調査・ 赤潮調査)	北部水産グループ	3	大分県漁業協同組合 水産振興課
R4. 10. 4	安心・安全な魚「現地研修会」	下入津地区陸上ヒラメ 養殖場・上入津地区沖 合養殖場	20	大分県水産養殖協議会
R4. 10. 14	大分県漁業学校(魚病診断)	水産研究部	1	大分県漁業協同組合 水産振興課
R4. 10. 20	安心・安全な魚「現地研修会」	下入津地区陸上ヒラメ 養殖場・上入津地区沖 合養殖場	26	大分県水産養殖協議会
R4. 11. 16	大分県漁業学校(栽培漁業・漁場 整備、海藻生態学)	北部水産グループ	3	大分県漁業協同組合 水産振興課
R4. 11. 19 ~11. 20	海と日本プロジェクト in 大分県	水産研究部 佐伯市さいき城山桜ホ ールほか	19	海と日本プロジェクト in 大 分県事務局(事務局:テレビ 大分)
R4. 11. 25 ~11. 26	令和4年度水産防疫対策委託事業 におけるリスト獣医師の現地研修	(国研)水産研究・機 構 水産技術研究所 上浦庁舎	19	農林水産省消費・安全局
R4. 11. 30	大分県漁業学校(魚類栄養学)	水産研究部	1	大分県漁業協同組合 水産振興課

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R4. 12. 15 ～12. 16	赤潮の予測とその社会実装に向けた研究	佐伯市保健福祉総合センター和楽（15日） 佐伯市さいき城山桜ホール（16日） Web（両日）	68	愛媛大学
R5. 1. 12	愛媛県・大分県タチウオ釣り漁業者意見交換会	愛媛県南予地方局八幡浜支局 7F	27	水産庁瀬戸内海漁業調整事務所
R5. 2. 9	豊後灘海面利用地区協議会	国東市	9	豊後灘海面利用地区協議会
R5. 3. 1 ～3. 2	魚病研修会	水産研究部	4	
R5. 3. 10	第30回東国東漁業青年協議会学習会	別府市	16	東国東漁業青年協議会
R5. 3. 11	令和4年度大分県タチウオ漁業者検討会	大分県水産会館	19	大分県漁業協同組合
R5. 3. 11	豊前海漁業青年協議会研修会	大分県漁協中津支店	28	豊前海漁業青年協議会
R5. 3. 15	大分県資源管理協議会臨時総会	大分県水産会館	10	大分県漁業協同組合
R5. 3. 16	南部漁業青年協議会講習会	大分県佐伯総合庁舎	19	南部漁業青年協議会
R5. 3. 20	佐賀関一本釣りと臼津まき網漁業との調整会議	大分県臼杵土木事務所	24	大分県漁業協同組合
R5. 3. 23	津久見青年部ヒジキ講習会	大分県漁協津久見支店	12	大分県漁協青年部津久見支部
R5. 3. 24	大分県水産養殖協議会青年部会養殖技術・経営向上対策講習会	大分県漁協佐伯支店	51	大分県水産養殖協議会
R5. 3. 24	大分県水産養殖協議会青年部会賛助会員懇談会	大分県漁協佐伯支店	16	大分県水産養殖協議会
R5. 3. 29	アサリ情報交換会	北部水産グループ	13	杵築市、東部振興局、北部振興局、水産振興課

(2) 受入研修

① 長期研修受け入れ

該当なし

② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	1	7
団体等職員	2	3
普及指導員		1
学生	3	5
児童・生徒	1	6
計	7	22

※大学

※小中高校

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
マガキシングルシード種苗の中間育成技術の普及	マガキ種苗の中間育成を行うための適正な環境条件を把握と、安価で簡易なカキ種苗の中間育成装置を開発・普及。	県下6地区でマガキ種苗の中間育成を行うとともに、2地区で現場海域の流動調査を行うなど、適正な環境条件を把握した。また、太陽光発電パネルとポンプを利用し、安価で簡易なカキ種苗の中間育成装置を開発・実証したが、ポンプの稼働時間や構造に改善の余地があった。

農林水産研究指導センター研究部・グループの所在地及び連絡先

組織名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX 番号
農林水産研究指導センター	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 2328-8	0974-28-2074	0974-28-2052
○農業研究部	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 2328-8	0974-22-0670	0974-22-0675
水田農業グループ	872-0103	宇佐市大字北宇佐 65	0978-37-1141	0978-37-0036
果樹グループ	873-0511	国東市国東町小原 4402	0978-72-0407	0978-72-3402
カボス・中晩柑チーム	879-2413	津久見市大字津久見浦 3456	0972-82-2837	0972-82-5322
落葉果樹チーム	872-0103	宇佐市大字北宇佐 65	0978-37-0149	0978-37-1437
花きグループ	874-0844	別府市大字鶴見 710-1	0977-66-4706	0977-67-5218
○畜産研究部	878-0201	竹田市久住町大字久住 3989-1	0974-76-1216	0974-76-1227
豚・鶏チーム	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 2328-8	0974-22-0673	0974-22-0980
○林業研究部	877-1363	日田市大字有田字佐寺原 35	0973-23-2146	0973-23-6769
きのこグループ	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 2369	0974-22-4236	0974-22-6850
○水産研究部	879-2602	佐伯市上浦大字津井浦 194-6	0972-32-2155	0972-32-2156
北部水産グループ	879-0608	豊後高田市呉崎 3386	0978-22-2405	0978-24-3061

令和4年度
(2022年度)
大分県農林水産研究指導センター業務年報

令和6年(2024年)10月発行

編集
発行 大分県農林水産研究指導センター

〒879-7111
豊後大野市三重町赤嶺 2328-8
TEL 0974-28-2074
FAX 0974-28-2052